



レスプリ V-ex シリーズ セットアップガイド



目次

1. はじめに	1
2. セットアップ手順	
同梱品の確認	2
プリンタドライバをインストールまでの作業手順	3
本プリンタの準備	4
USB インタフェース接続(標準)	7
LAN インタフェース接続(標準)	8
RS-232C インタフェース接続(標準)	10
パラレルインタフェース接続(オプション)	12
無線 LAN インタフェース接続(オプション)	13
3. LAN インタフェース設定	16
4. 無線 LAN インタフェース設定	25
5. プリンタドライバのインストール方法 (USB)	28
Windows 7/8/8.1/10/Server 2012 の場合	28
Windows Vista/Server 2008 の場合	32
Windows Server 2003 の場合	36
6. プリンタドライバのインストール方法 (USB 以外)	39
パラレルインタフェースのインストール	42
RS-232C インタフェースのインストール	43
LAN/無線 LAN インタフェースのインストール	44
7. ラベル発行までの流れ	45
8. プリンタドライバのアンインストール方法	54
9. ドライバ設定情報の保存方法	56
10. ドライバ設定情報の読み込み方法	58
11. プリンタドライバ共有機能	60
12. Web ブラウザによるネットワーク設定	62
13. レスプリ互換モード設定	64
14. Q&A	65
15. ご注意	66

プリンタの設置をした後、セットアップ作業をおこなってください。
本セットアップガイドに、プリンタを使用可能な状態にするまでの作業手順を記載
しています。

1. はじめに

本書は、レスプリ V-ex シリーズプリンタを、プリンタドライバを使用して動作させるまでの説明書です。

レスプリ V-ex シリーズプリンタは、レスプリ T408v-ex/T412v-ex、レスプリ R408v-ex/R412v-ex で構成されています。

プリンタドライバをインストールする場合は、下表のドライバ名称のプリンタドライバをインストールしてください。

ドライバ名称	対応機種
SATO Lesprit408v	レスプリ T408v-ex、R408v-ex
SATO Lesprit412v	レスプリ T412v-ex、R412v-ex

プリンタドライバ、およびプリンタ設定ツールの対応 OS は次のとおりです。

<x86 版 OS (32bit 版 OS) >

Windows Vista/7/8/8.1/10/Server 2003/Server 2008

<x64 版 OS (64bit 版 OS) >

Windows 7/8/8.1/10/Server 2008/Server 2008 R2/Server 2012/Server 2012 R2

プリンタドライバとは、こんなソフトです。

- ① コンピュータで作成したデータ (文書や絵) を…
- ② プリンタに送り出し…
- ③ ラベルに印刷する作業をおこないます。

2. セットアップ手順

同梱品の確認

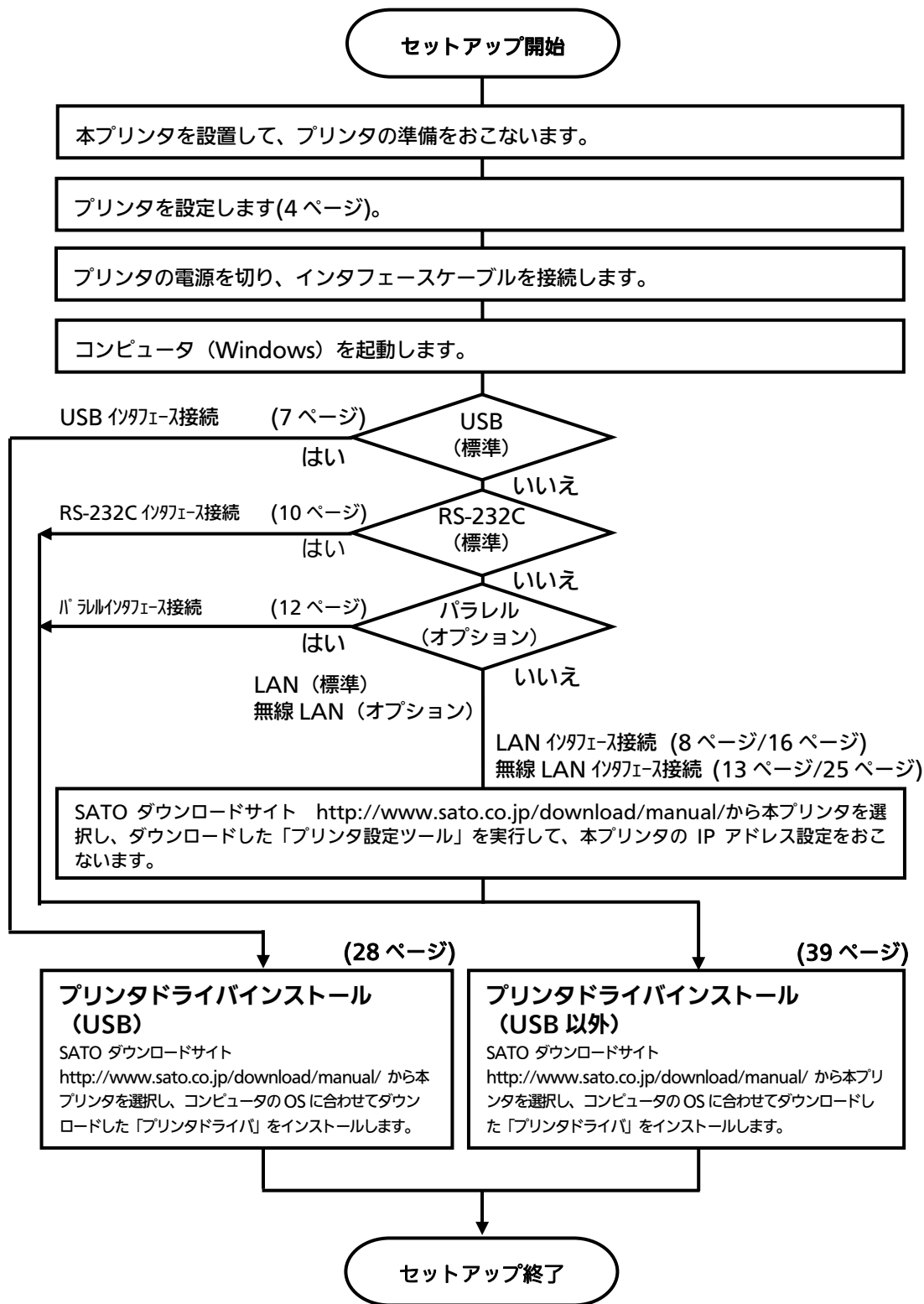
プリンタを箱から出しましょう。箱を開けたら、同梱品を確認してください。同梱品についての詳しい説明は、「取扱説明書」をご確認ください。取扱説明書の手順に従って、プリンタを設置してください。

同梱品

- 1.かんたんガイド
- 2.安全上のご注意
- 3.保証書
- 4.クリーニングペン
- 5.電源コード/ACアダプタ
- 6.リボンアダプタ（熱転写仕様のみ同梱されています。）
- 7.リボン支管（熱転写仕様のみ同梱されています。）
- 8.ボリューム調整用ドライバ（本プリンタに同梱されています。）

- プリンタドライバ、およびプリンタ設定ツールは、SATO ダウンロードサイト <http://www.sato.co.jp/download/manual/> から本プリンタを選択し、コンピュータのOSに合わせてダウンロードしてください。
- 本プリンタに付属の電源コードセットは、本プリンタ専用です。他の電気製品には使用できません。

プリンタドライバをインストールするまでの作業手順



本プリンタの準備

準備 1. 電源ケーブルをプリンタに接続してください。



本プリンタ→ACアダプタ→電源コードとつなげます。

準備 2. はじめに本プリンタの動作条件を設定してください。

設定 1. ディップスイッチ (DSW) を設定してください。



ディップスイッチ (DSW) 設定表

NO	機能	説明																																
1 2 3	モード切替	<table border="1"><thead><tr><th>SW1</th><th>SW2</th><th>SW3</th><th>動作モード</th></tr></thead><tbody><tr><td>OFF</td><td>OFF</td><td>OFF</td><td>連続</td></tr><tr><td>ON</td><td>OFF</td><td>OFF</td><td>ティアオフ</td></tr><tr><td>OFF</td><td>ON</td><td>OFF</td><td>カット</td></tr><tr><td>ON</td><td>ON</td><td>OFF</td><td>ハクリ</td></tr><tr><td>OFF</td><td>OFF</td><td>ON</td><td>ノンセパ</td></tr><tr><td>ON</td><td>ON</td><td>ON</td><td>パーシャルカット</td></tr><tr><td>OFF</td><td>ON</td><td>ON</td><td>フロントダウンロード</td></tr></tbody></table>	SW1	SW2	SW3	動作モード	OFF	OFF	OFF	連続	ON	OFF	OFF	ティアオフ	OFF	ON	OFF	カット	ON	ON	OFF	ハクリ	OFF	OFF	ON	ノンセパ	ON	ON	ON	パーシャルカット	OFF	ON	ON	フロントダウンロード
		SW1	SW2	SW3	動作モード																													
		OFF	OFF	OFF	連続																													
		ON	OFF	OFF	ティアオフ																													
		OFF	ON	OFF	カット																													
		ON	ON	OFF	ハクリ																													
		OFF	OFF	ON	ノンセパ																													
ON	ON	ON	パーシャルカット																															
OFF	ON	ON	フロントダウンロード																															
4	印字方式	ON : 熱転写 OFF : 感熱																																
5	ヘッドチェック	ON : 有効 OFF : 無効																																
6	VR1 調整選択	ON : 印字濃度調整 OFF : オフセット調整 (カット、ハクリ、ティアオフ)																																
7 8	インタフェース切替	有効なインタフェースは、次ページのインタフェース切替表のとおりです																																

インタフェース切替表

オプション インタフェース 装着状況	SW7	SW8	有効インタフェース
未装着	—	—	USB
	—	OFF	LAN
		ON	RS-232C
装着時 (Key-Bo/ Key-Bo Plus 接続を含む)	—	—	USB
	OFF	OFF	LAN
		ON	RS-232C
	ON	OFF	オプションインタフェース*
		ON	Key-Bo/Key-Bo Plus

※ USB インタフェースは、ディップスイッチの設定にかかわらず使用できます。

* オプションインタフェースは、パラレルインタフェース、無線 LAN インタフェース、Bluetooth インタフェースです。

インタフェースの接続は、次ページ以降をご覧ください。

- ①USB インタフェース : 7 ページ
- ②LAN インタフェース : 8 ページ
- ③RS-232C インタフェース : 10 ページ
- ④パラレルインタフェース : 12 ページ
- ⑤無線 LAN インタフェース : 13 ページ

設定 2. プリンタ設定ツールで設定してください。

※ 詳しい内容は、SATO ダウンロードサイト
<http://www.sato.co.jp/download/manual/> から本プリンタを選択し、ダウンロードした「プリンタ設定ツール説明書」をご確認ください。

設定 3. レスプリ互換モードを設定してください。

必要に応じてレスプリ互換モードを設定してください。
レスプリ互換モードの設定は、「13.レスプリ互換モード設定」(☞64 ページ)をご覧ください。

準備 3. お使いになるラベル、リボンをセットしてください。

- コンピュータに合わせた通信設定をおこなってください。
プリンタの設定をした後、プリンタドライバをインストールしてください。
- バーコードをイメージ（BMP など）で作成するツールにて作成し、当社プリンタにて印字出力した場合、スキャナなどで読取りできない場合があります。これらのツールはあくまでもバーコードをイメージとして作成するため、正しいデータにならない場合があります。このため、スキャナなどでバーコード読取りできない場合は、プリンタおよびプリンタドライバのバーコード不具合ではありません。これらのツールを使用された場合の読取りについては保証いたしませんのでご注意ください。

この内容はイメージでバーコードを印刷したときのトラブルを防ぐため、ホームページのドライバダウンロードサイトの注意書きとして掲載しています。
<http://www.sato.co.jp/download/notes.html>
- ヘッドチェックはヘッド断線の目安で、バーコード読取りを保証する機能ではありません。定期的に読取りチェックをお願いします。

USB インタフェース接続（標準）

プリンタの電源が切れているときにインタフェースケーブルを接続してください。

プリンタの USB インタフェースに USB ケーブルを接続してください。

標準仕様



プリンタ背面



USB ケーブル接続

オプションインタフェース搭載タイプ



プリンタ背面



USB ケーブル接続

写真は、パラレルインタフェース搭載モデルです。

USB インタフェース仕様

USB ケーブルをコンピュータとプリンタに接続し、コンピュータの電源が入った状態でプリンタの電源を入れると USB インタフェースが選ばれます。

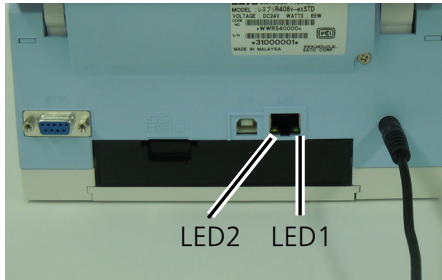
- USB 接続の場合、使用するプリンタドライバをコンピュータにインストールするまでは、USB ケーブルを接続した状態で、本プリンタの電源を入れしないでください。プリンタドライバがインストールされていない状態で電源を入れると Windows の Plug & Play が実行され、標準の USB ドライバをインストールするメッセージが表示されますのでキャンセルしてください。プリンタドライバのインストール方法は 28 ページ以降をご覧ください。
- USB ケーブルは、2 メートル以内のケーブルを推奨しています。

LAN インタフェース接続（標準）

プリンタの電源が切れているときにインタフェースケーブルを接続してください。

プリンタの LAN インタフェースに LAN ケーブルを接続してください。
フロントカバー内側にあるディップスイッチ(DSW)の 8 番を OFF にしてください。
オプションインタフェースが装着されている場合は、フロントカバー内側にあるディップスイッチ(DSW)の 7 番と 8 番を OFF にしてください。
※USB ケーブルは接続しないでください。

標準仕様



プリンタ背面



LAN ケーブル接続

オプションインタフェース搭載タイプ



プリンタ背面



LAN ケーブル接続

写真は、パラレルインタフェース搭載モデルです。

LAN インタフェースの LED

LED	機能
LED1	パケットを受信したときに一定時間点灯します。
LED2	接続先を 10BASE-T と認識したときに消灯します。 接続先を 100BASE-TX と認識したときに点灯します。

お客様のネットワーク環境に合わせた通信条件設定が必要です。本プリンタの IP アドレスを設定してください。

本プリンタの IP アドレスは、SATO ダウンロードサイト <http://www.sato.co.jp/download/manual/> から本プリンタを選択し、コンピュータの OS に合わせてダウンロードした、「プリンタ設定ツール」を使って設定します。プリンタ設定ツールの使用方法は、16 ページ以降をご覧ください。

●プリンタ設定ツールを使うと、コンピュータからプリンタの IP アドレスの設定や、設定内容の表示・印刷確認ができます。

LAN インタフェース仕様

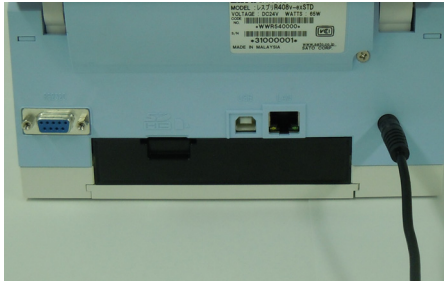
- 10BASE-T／100BASE-TX は自動認識します。
- プロトコルは、TCP/IP をサポートしています。
- 受信モードの初期値は、「ENQ 応答モード」になります。

RS-232C インタフェース接続（標準）

プリンタの電源が切れているときにインタフェースケーブルを接続してください。

プリンタの RS-232C インタフェースに RS-232C ケーブルを接続してください。フロントカバー内側にあるディップスイッチ(DSW)の 8 番を ON にしてください。オプションインタフェースを取付けている場合は、フロントカバー内側にあるディップスイッチ(DSW)の 7 番を OFF にしてください。
※USB ケーブルは接続しないでください。

標準仕様



プリンタ背面



RS-232C ケーブル接続

オプションインタフェース搭載タイプ



プリンタ背面



RS-232C ケーブル接続

写真は、パラレルインタフェースモデルです。

RS-232C インタフェース仕様

- ・通信速度 : 9600bps、19200bps、38400bps、57600bps (初期値「19200bps」)
- ・データ長 : 7 ビット、8 ビット (初期値「8bit」)
- ・ストップビット : 1 ビット、2 ビット (初期値「1bit」)
- ・パリティビット : 無し、奇数、偶数 (初期値「無し」)
- ・通信プロトコル : 4 種類 : READY/BUSY (ER 制御)、XON/XOFF、ステータス 4、ステータス 3 (初期値「READY/BUSY」)

コンピュータの通信設定に合わせて、プリンタの通信設定をおこなってください。RS-232C インタフェースの通信条件を設定する場合、「プリンタ設定ツール」で設定してください。

設定に関する詳細は、SATO ダウンロードサイト

<http://www.sato.co.jp/download/manual/> から本プリンタを選択し、ダウンロードした「プリンタ設定ツール説明書」をご確認ください。

- RS-232C ケーブルは、設定された通信プロトコルによりケーブル結線が異なりますのでご注意ください。ケーブルを間違えると、正常に動作しません。
- RS-232C インタフェースの詳細については、お客さまヘルプデスク、または弊社営業担当にお問い合わせください。
- コンピュータとの通信設定があっていないと正常に動作しません。通信エラーになります。
- プリンタドライバを使用するときには、必ず通信プロトコルを「ステータス 4」に設定してください。
- RS-232C ケーブルは、必ず推奨品の RS-232C ケーブルをお使いください。

ホストが DB-9P の場合



ホストが DB-25P の場合



パラレルインタフェース接続（オプション）

プリンタの電源が切れているときにインタフェースケーブルを接続してください。

プリンタのパラレルインタフェースにパラレルケーブル（IEEE1284 準拠）を接続してください。

フロントカバー内側にあるディップスイッチ（DSW）の7番をON、8番をOFFにしてください。

※USBケーブルは接続しないでください。



プリンタ背面



パラレルケーブル接続

- IEEE1284 準拠ケーブル以外のケーブルを使用される場合、データ化けが発生することがありますので、必ず推奨品の IEEE1284 準拠ケーブル（オプション）をお使いください。
- コンピュータによっては、ECP モードの設定をおこなっても ECP 動作をおこなわない機種があります。コンピュータメーカーへお問い合わせください。

パラレルインタフェース仕様

IEEE1284 準拠：互換モード、ECP モード、ニブルモードをサポートします。

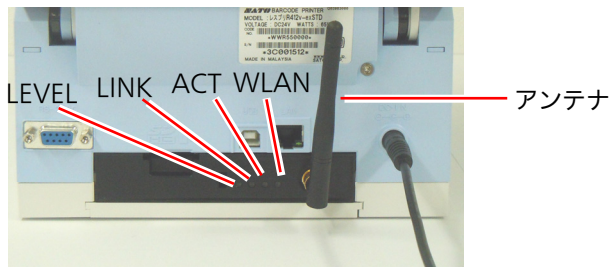
※ ECP モードは、コンピュータによってはサポートしていない場合があります。コンピュータのパラレルインタフェース仕様をご確認ください。

※ ECP モードは、コンピュータの BIOS 設定でおこないます。コンピュータによっては Windows 上のツールソフトを使用することもあります。

無線 LAN インタフェース接続（オプション）

フロントカバー内側にあるディップスイッチ（DSW）の 7 番を ON、8 番を OFF にしてください。

※USB ケーブルは接続しないでください。



プリンタ背面

無線 LAN インタフェースの LED

LED	色	機能
LEVEL	緑	電界強度： 点灯：強（SignalLevel3 以上） 点滅：中（SignalLevel2～SignalLevel3 未満） 消灯：弱（SignalLevel2 未満） ※ Ad Hoc モードの場合は常に消灯します。
LINK	緑	リンク： 点滅：アクセスポイントと未接続です。 点灯：アクセスポイントと接続中です。
ACT	橙	点滅：パケットを受信したときに点滅します。
WLAN	緑	無線 LAN モード： 点滅：Ad Hoc モード 点灯：Infrastructure モード

無線 LAN インタフェース仕様

規格	IEEE802.11b/g/n 準拠
通信速度	自動切替
IEEE802.11b	11/5.5/2/1Mbps
IEEE802.11g	54/48/36/24/18/12/11/9/6/5.5/2/1Mbps
IEEE802.11n	最大 150Mbps
通信距離	通信距離は、使用環境により変動します
通信モード	Infrastructure/Ad Hoc (初期値 Ad Hoc)
通信チャンネル	
Infrastructure	1～13 (初期値 6)
Ad Hoc	1～13 (IEEE802.11b/g のみ対応) (初期値 6)
認証方式	Open System Shared Key WPA WPA2 IEEE802.1x 認証 (LEAP、EAP-TLS、EAP-TTLS、EAP-PEAP、EAP-FAST)
暗号方式	なし WEP (Open System、Shared Key、802.1x) TKIP (WPA-PSK/WPA2-PSK、WPA-802.1x/WPA2-802.1x) AES (WPA-PSK/WPA2-PSK、WPA-802.1x/WPA2-802.1x)

プロトコルは、TCP/IP をサポートしています。

認証方式と暗号化方式の組合せ

Ad Hoc モード

ネットワーク認証	暗号化方式
Open System	なし/WEP
Shared Key	WEP

Infrastructure モード

ネットワーク認証	認証モード	暗号化方式
Open System	LEAP	なし/WEP
	TLS	なし/WEP
	TTLS	なし/WEP
	PEAP	なし/WEP
	FAST	なし/WEP
Shared Key	—	なし/WEP
WPA/WPA2	PSK	TKIP/AES
	EAP-TLS	
	EAP-LEAP	
	EAP-TTLS	
	EAP-PEAP	
	EAP-FAST	

プリンタドライバは、専用 SOCKET インタフェースを使用してデータ通信をおこないます。

無線 LAN インタフェース接続の場合、お客様のネットワーク環境に合わせた通信条件設定が必要です。

- 通信プロトコルの初期値は、「ステータス 4」です。
- 受信モードの初期値は、「ENQ 応答ステータス」です。
- 設定方法は 25 ページをご覧ください。
- Atheros SuperG、XR 機能には対応しておりません。

3. LAN インタフェース設定

※ 本書のプリンタドライバのプロパティ画面は、Windows 8.1 を使用しています。
Windows Vista/7/8/10/Server 2003/Server 2008/Server 2008 R2/Server 2012/Server 2012 R2 では画面構成が異なる場合がありますが、機能は共通となります。

IP アドレスなどのネットワーク設定は、プリンタ設定ツールを使って設定します。

①本プリンタを確認します

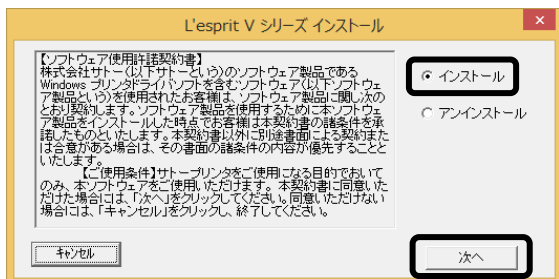
プリンタに LAN ケーブルを接続し、プリンタの電源を入れてください。
プリンタの LAN インタフェースの LED が点灯しているか確認してください。

②プリンタ設定ツールを起動します

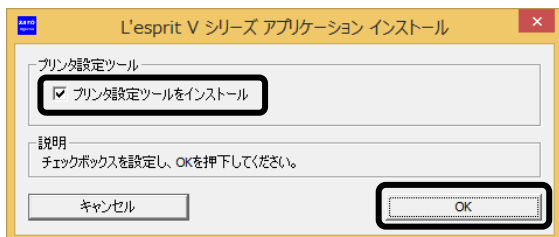
1. SATO ダウンロードサイト <http://www.sato.co.jp/download/manual/> から本プリンタを選択し、コンピュータの OS に合わせて「プリンタ設定ツール」をダウンロードします。
2. ダウンロードした EXE ファイルを実行して、インストーラーを解凍します。
3. AppInst.exe を実行して、インストーラーを起動します。
4. ユーザーアカウント制御メッセージが表示されますので、「はい (Y)」をクリックします。



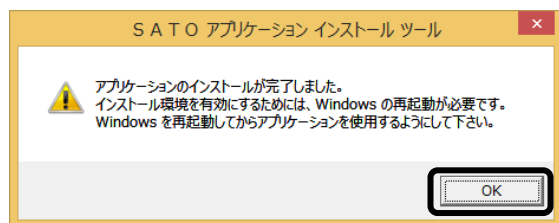
5. 「ソフトウェア使用許諾契約書」を読んで同意していただけたら、「インストール」を選び、「次へ」ボタンをクリックします。



6. 「プリンタ設定ツールをインストール」を選び、「OK」ボタンをクリックします。



7. インストール後「OK」ボタンをクリックし、プリンタを再起動してください。



8. 「プリンタ設定ツール」を起動して、プリンタ選択画面が開きます。プリンタを選び、「次へ」ボタンをクリックします。



9. プリンタ設定ツール画面が開きます。
「LAN の設定」タブを開きます。

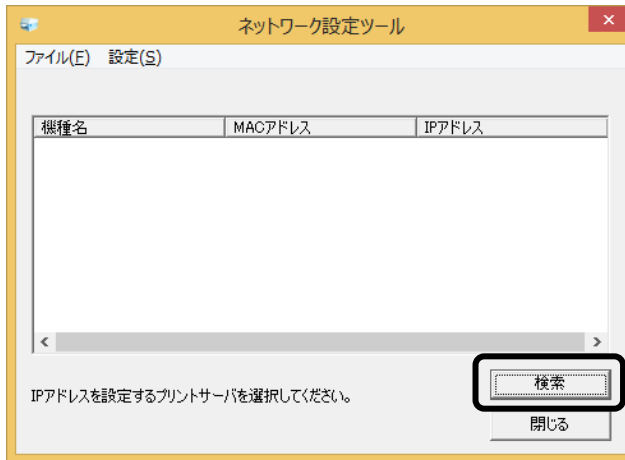


10. 「ネットワーク設定ツール」 ボタンをクリックします。

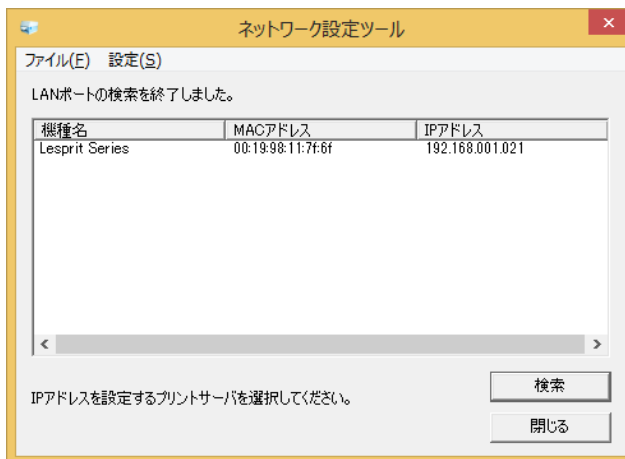


③ プリンタに IP アドレスを設定します 設定をおこなうプリンタを検索します。

1. 「検索」 ボタンをクリックします。



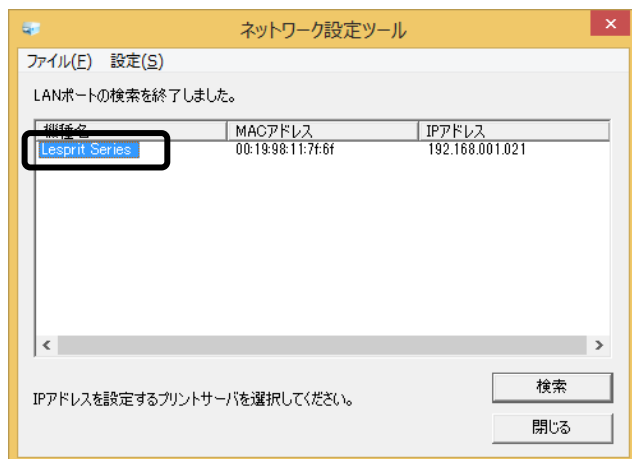
2. 検索されたプリンタの一覧を表示します。



注意 検索されない場合は、再度「検索」ボタンをクリックしてください。また、以下のことを確認してください。

- プリンタの電源を確認してください。
- LAN インタフェースの LINK LED が点灯していることを確認してください。
- ご使用のコンピュータとプリンタがネットワーク環境に接続されているか確認してください。
- コンピュータとプリンタを LAN クロスケーブルで直接つなぐか、ハブのカスケードを外して、ローカルの LAN 環境にしてください。
- ご使用のコンピュータが、Windows ファイアウォールの設定が有効の場合、検索ができない場合があります。その際には、設定を無効にしてください。

3. 設定するプリンタをクリックします。

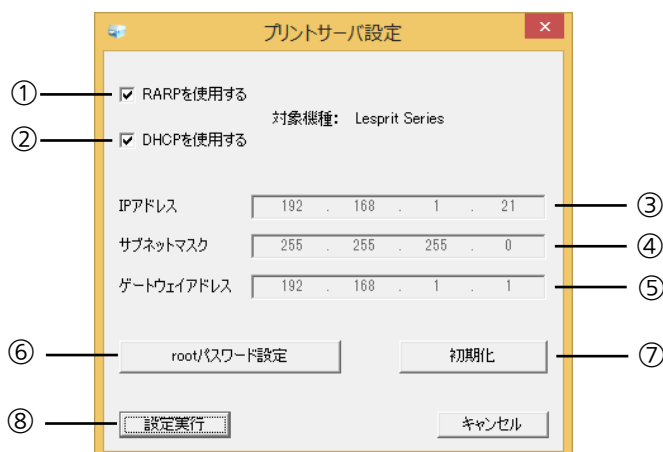


注意 画面は LAN インタフェースプリンタを検索した場合です。
LAN インタフェースプリンタを検索した場合、機種名表示が「Lesprit Series」になります。

4. プリンタの IP アドレスなどの LAN の設定をします。 「設定 (S)」メニューから「LAN の設定 (S)」をクリックします。

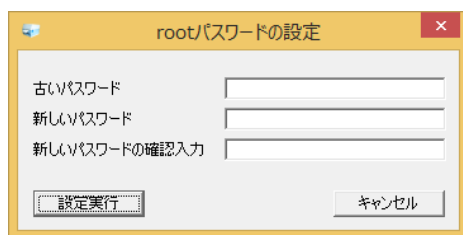


5. LAN の設定をします。



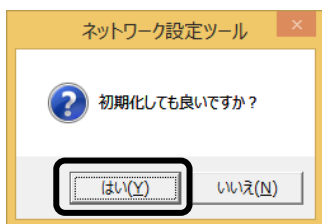
- 注意** LAN 設定の初期値は、
- ・ RARP 、 DHCP は「有効」
 - ・ IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスは「0. 0. 0. 0」
 - ・ root パスワードは「無し」になっています。

- ① 「RARP を使用する」のチェックボックスにチェックすると、RARP プロトコルが有効になります。RARP サーバーによって IP アドレスが設定されますので、③に入力した IP アドレスは無効になります。
IP アドレスを手動で設定する場合、「RARP を使用する」のチェックを外してください。
- ② 「DHCP を使用する」のチェックボックスにチェックすると、DHCP サーバーから割り当てられる IP アドレスを有効とします。
DHCP サーバーから割り当てられる IP アドレスを有効とするため、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスの設定はできません。
IP アドレスなどを手動で設定する場合、「DHCP を使用する」のチェックを外してください。
- ③ 「IP アドレス」の指定ができます。
- ④ 「サブネットマスク」の指定ができます。
- ⑤ 「ゲートウェイアドレス」の指定ができます。
- ⑥ 「root パスワード設定」の入力になります。

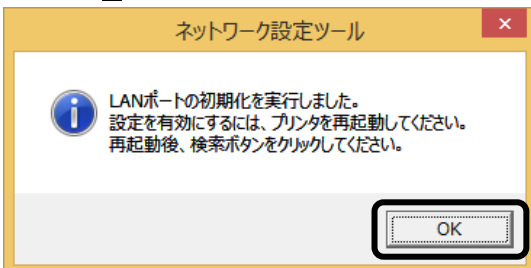


任意の英数文字列を最大 16 文字設定できます（初期値は無し）。
パスワードを設定するためには、「古いパスワード」、「新しいパスワード」、「新しいパスワードの確認入力」のすべての入力が必要です。

- ⑦ 「初期化」をクリックすると、LAN 設定を初期値に設定します。

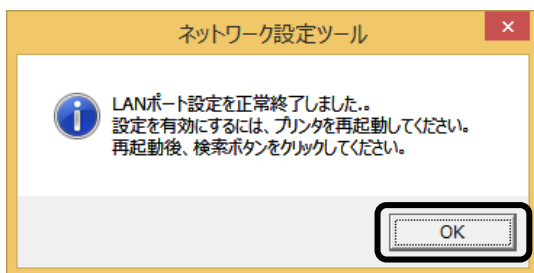
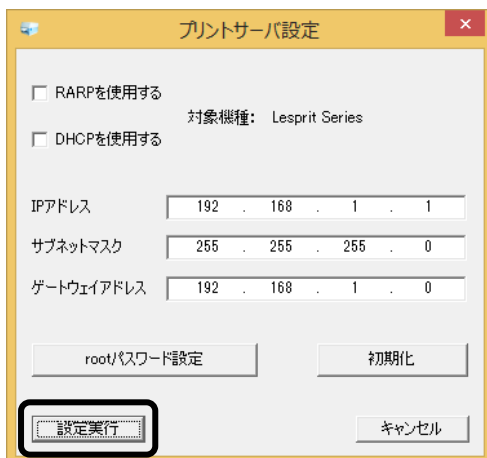


「はい (Y)」ボタンをクリックすると、LAN 設定を初期化します。



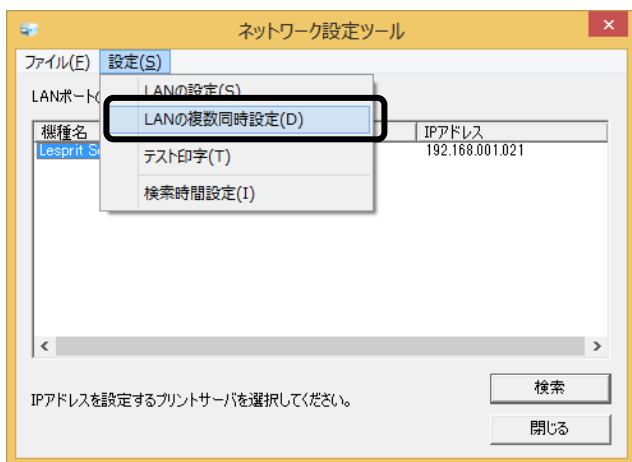
LAN 設定の初期化後、「OK」ボタンをクリックし、プリンタを再起動してください。

- ⑧ IP アドレスなどの LAN 設定を入力し、「設定実行」ボタンをクリックすると、LAN 設定を登録します。

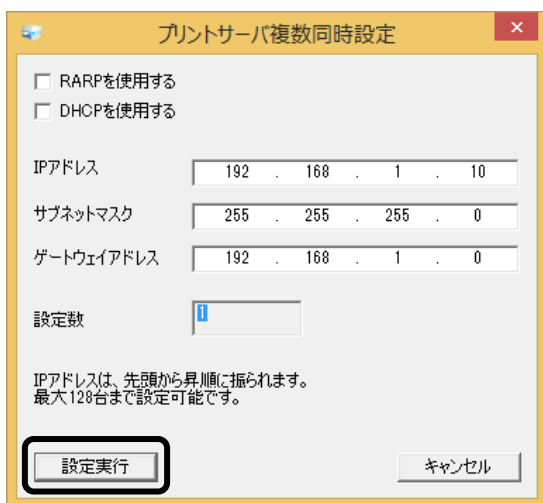


LAN 設定の登録を完了すると、「LAN ポート設定を正常終了しました。設定を有効にするには、プリンタを再起動してください。」のメッセージを表示します。「OK」ボタンをクリックして、メッセージ画面を閉じます。プリンタを再起動してください。

6. LAN 設定を複数同時に設定します。
同時に設定したいプリンタを選んだ後、「設定 (S)」メニューから「LAN の複数同時設定 (D)」をクリックします。



検索した LAN インタフェースすべての LAN 設定をおこないます。
IP アドレスは、入力した IP アドレスから昇順で割り振られます。
「設定実行」ボタンをクリックし、複数同時に LAN 設定をおこないます。



ヒント

2 台のプリンタに LAN ポート複数同時設定をおこなう場合、IP アドレスに「192.168.1.10」を設定すると、下記の設定になります。

- 1 台目 「192.168.1.10」
- 2 台目 「192.168.1.11」

IP アドレス以外の設定は、すべて同じ設定になります。

7. LAN 設定の登録完了後、プリンタを再起動してください。

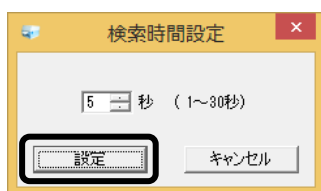
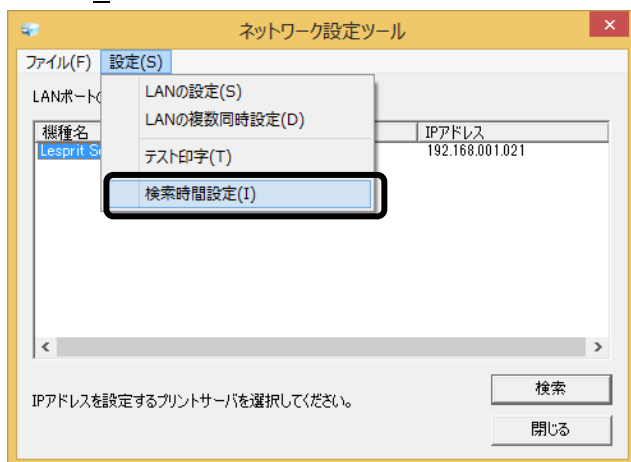
注意 無線 LAN インタフェースへの複数同時設定をおこなうことはできません。

8. LAN の設定を確認する場合は、テスト印字をします。
「設定 (S)」メニューから「テスト印字 (T)」をクリックします。



プリンタインタフェース設定のテスト印字をおこないます。
LAN インタフェースの MAC アドレス、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DHCP、RARP などの各設定内容を印字します。

9. プリンタの検索ができない場合は、検索時間を設定してください。
「設定 (S)」メニューから「検索時間設定 (I)」をクリックします。



プリンタの検索時間を入力し、「設定」ボタンをクリックします。

4. 無線 LAN インタフェース設定

プリンタ設定ツールを使って、無線 LAN インタフェースの IP アドレスなどの通信設定をします。

無線 LAN インタフェースの設定をする前に、プリンタとコンピュータを USB ケーブルや LAN ケーブルなど、無線 LAN 以外のインタフェースで接続してください。

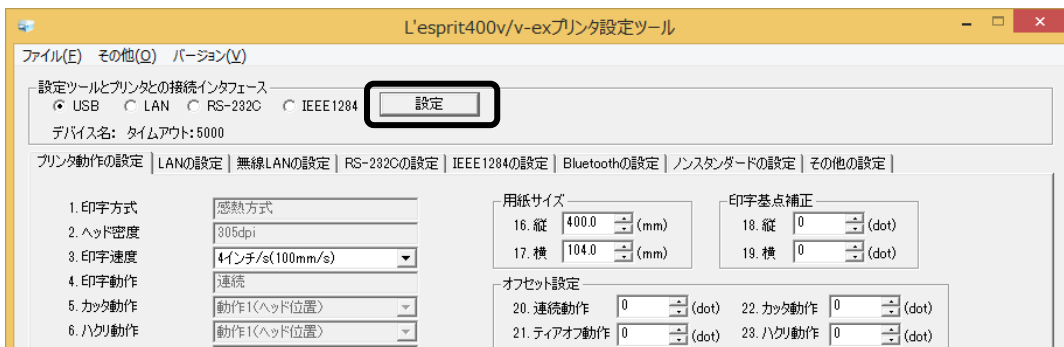
お知らせ

- 無線 LAN インタフェースの工場出荷状態（初期値）は、下記のとおりです。

無線 LAN インタフェースの初期値	
無線モード	Ad Hoc
通信チャンネル	6
SSID	SATO_PRINTER
セキュリティ	なし
IP アドレス	192.168.1.1
サブネットマスク	255.255.255.0
ゲートウェイアドレス	192.168.1.2

- 無線 LAN 接続の場合、お客様のネットワーク環境に合わせた通信条件設定が必要です。詳しくはネットワーク管理者に相談してください。

- プリンタ設定ツールを起動します。
プリンタ設定ツールの起動方法については、16 ページをご覧ください。
- ここでは、プリンタとコンピュータを USB ケーブルで接続した場合を例にしています。「設定ツールとプリンタとの接続インタフェース」の「USB」を選択し、「設定」ボタンをクリックします。
そのほかの接続インタフェースの設定に関する詳細は、SATO ダウンロードサイト <http://www.sato.co.jp/download/manual/> から本プリンタを選択し、ダウンロードした「プリンタ設定ツール説明書」をご確認ください。



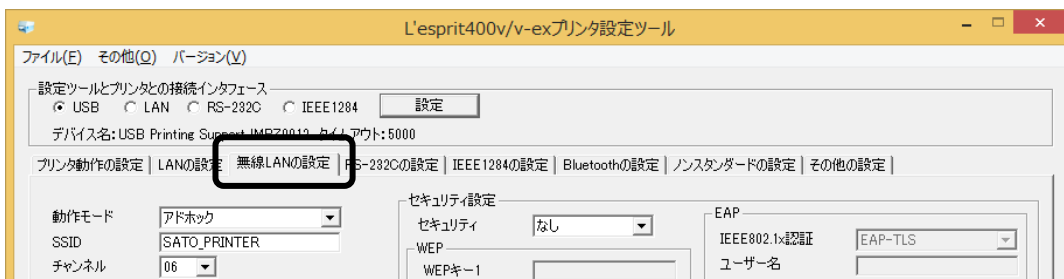
3. 「USB 検索」 ボタンをクリックします。



4. 「デバイス名称」に通信に使用可能なデバイスドライバが表示されます。「設定」ボタンをクリックします。



5. 「無線 LAN の設定」タブを開きます。



6. 「情報取得」をクリックし、現在プリンタに設定されている値を取得します。



7. 必要に応じて無線 LAN の設定を選択、入力します。
各設定項目に関する詳細は、SATO ダウンロードサイト
<http://www.sato.co.jp/download/manual/> から本プリンタを選択し、「プリンタ
ドライバ説明書」をダウンロードして、ご確認ください。



8. 設定が完了したら、「設定実行」をクリックします。

9. メッセージに従いプリンタを再起動します。

注意 無線 LAN の設定はプリンタ再起動時に無線 LAN モジュールに反映されます。プリンタを再起動するまでは無線 LAN モジュールの設定値は変更されません。無線 LAN 設定を初期化する場合は、「設定初期化」をクリックし、メッセージに従いプリンタを再起動してください。インストール作業を始める前に使用中のアプリケーションはすべて終了してください。

5. プリンタドライバのインストール方法（USB）

※ USB 以外のプリンタドライバのインストールは 39 ページ以降をご覧ください。

注意 インストール作業を始める前に使用中のアプリケーションはすべて終了してください。

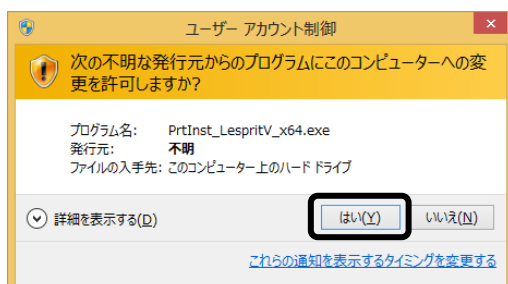
プリンタの電源をオフにし、USB ケーブルをコンピュータに接続します。
プリンタドライバのセットアップ、プロパティ設定、印刷設定をおこなう場合は、Administrator 権限ユーザーでログインしてください。
プリンタドライバを使用する場合は、双方向通信を有効にしてご使用ください。
複数台のプリンタをご使用になる場合は、個々のプリンタを識別するために台数分のプリンタドライバをインストールする必要があります。

Windows 7/8/8.1/10/Server 2012 の場合

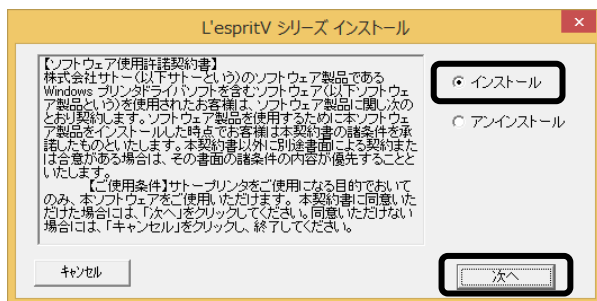
※ 本書のプリンタドライバのプロパティ画面は、Windows 8.1 を使用しています。
Windows 7/8/10/Server 2012 では画面構成が異なる場合がありますが、機能は共通となります。

注意 1 台目のプリンタドライバをインストール後、2 台目以降のプリンタを接続してプリンタの電源を入れると、自動的にプリンタドライバがインストールされます。

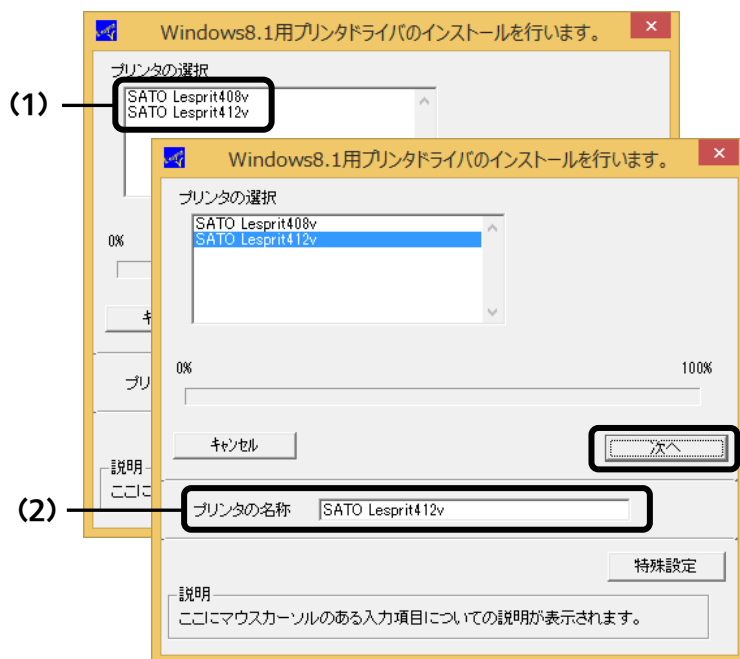
- ① プリンタの電源が切れていることを確認して、Windows を起動します。
- ② SATO ダウンロードサイト <http://www.sato.co.jp/download/manual/> から本プリンタを選択し、コンピュータの OS に合わせて「プリンタドライバ」をダウンロードします。
- ③ ダウンロードした EXE ファイルを実行して、インストーラーを解凍します。
- ④ PrnInst.exe を実行して、インストーラーを起動します。
- ⑤ ユーザーアカウント制御メッセージが表示されますので、「はい (Y)」をクリックします。



- ⑥ 「ソフトウェア使用許諾契約書」を読んで同意していただけたら、「インストール」を選び、「次へ」ボタンをクリックします。



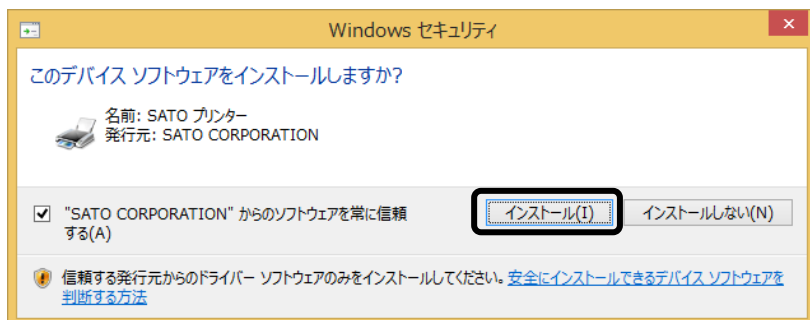
- ⑦ 使用するプリンタを選び、「次へ」ボタンをクリックします。



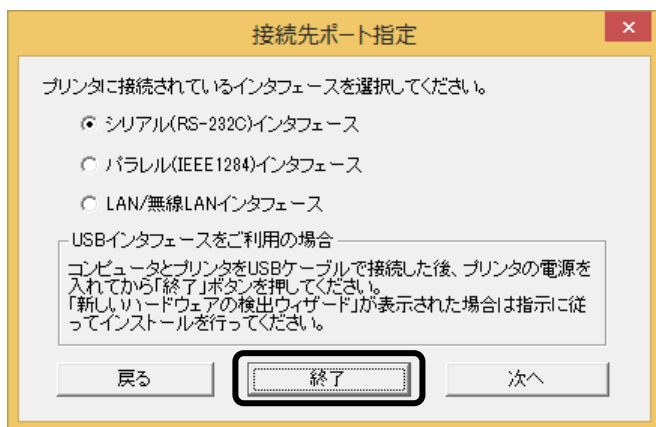
(1) 【プリンタの選択】
インストールするプリンタを選びます。

(2) 【プリンタの名称】
プリンタドライバの名称を入力できます。

- ⑧ 「Windows セキュリティ」画面が表示されます。
「インストール (I)」を選びます。
(Windows 7/8/10/Server 2012 ではメッセージ内容が異なる場合があります。)



- ⑨ 「接続先ポート指定」画面が表示されます。
「終了」ボタンをクリックして、画面を閉じます。
※ コンピュータとプリンタを USB ケーブルで接続した後、プリンタの電源を入れてから「終了」ボタンをクリックしてください。

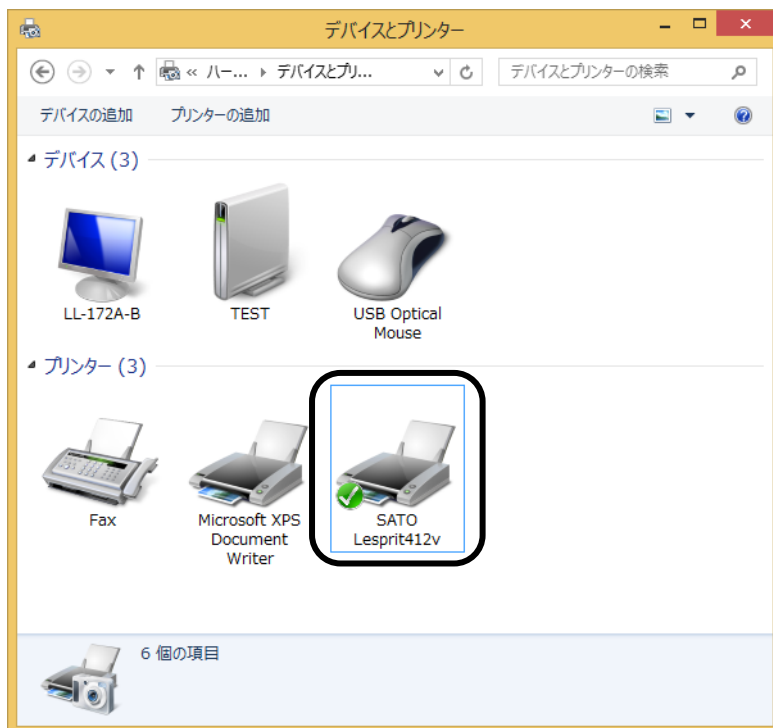


⑩ プリンタの電源を入れます。

自動的にインストールを開始します。

以上でプリンタドライバのインストールは完了です。

⑪ 「デバイスとプリンター」を開き、プリンタドライバがインストールされていることを確認してください。



Windows Vista/Server 2008 の場合

説明は Windows Vista の画面です。

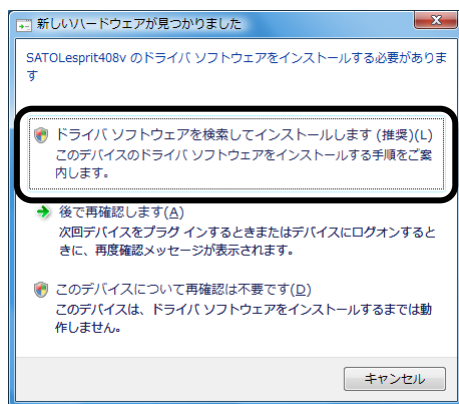
注意 Windows Server 2008 でターミナルサービスが起動している場合は、ターミナルサービスをインストールモードにしてください。

ただし、ターミナルサービス環境下でのプリンタドライバの使用は保証しておりませんので、ご注意ください。

Windows Vista の 64bit 版 OS には対応していません。32bit 版 OS をお使いください。

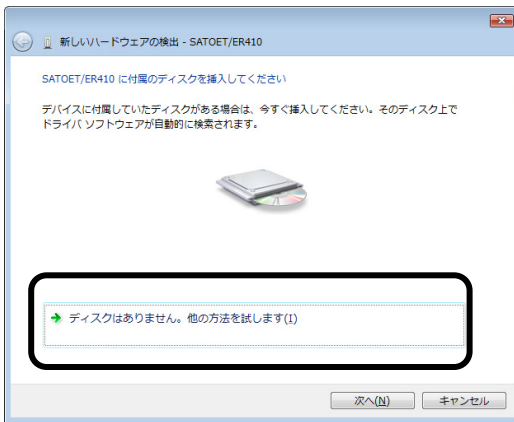
1 台目のプリンタドライバをインストール後、2 台目以降のプリンタを接続して電源を入れると、自動的にインストールされます。

- ① プリンタの電源を切ります。
- ② プリンタとコンピュータを USB ケーブルで接続します。
- ③ SATO ダウンロードサイト <http://www.sato.co.jp/download/manual/> から本プリンタを選択し、コンピュータの OS に合わせて「プリンタドライバ」をダウンロードします。
- ④ ダウンロードした EXE ファイルを実行して、インストーラーを解凍します。
- ⑤ プリンタの電源を入れます。「新しいハードウェアが見つかりました」が表示されます。「ドライバソフトウェアを検索してインストールします (推奨) (L)」をクリックします。



- ⑥ ユーザーアカウント制御メッセージが表示されますので、「続行 (C)」ボタンをクリックすると、「新しいハードウェアの検出 - SATOET/ER410」が表示されます。

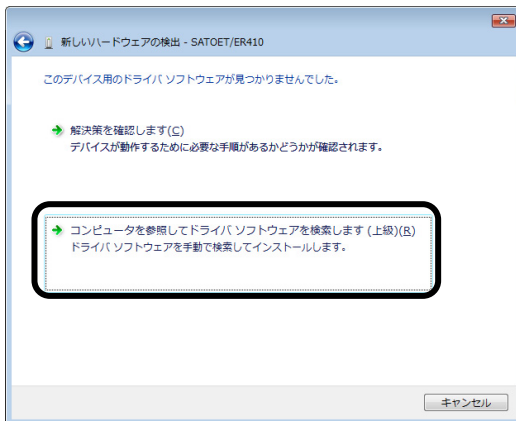
「ディスクはありません。他の方法を試します (I)」をクリックします



ヒント

左記の画面は、レスプリ T412v-ex/R412v-ex プリンタを接続した場合の表示になります。レスプリ T408v-ex/R408v-ex プリンタを接続した場合、「新しいハードウェアの検出 - SATOLesprit408v」が表示されます。

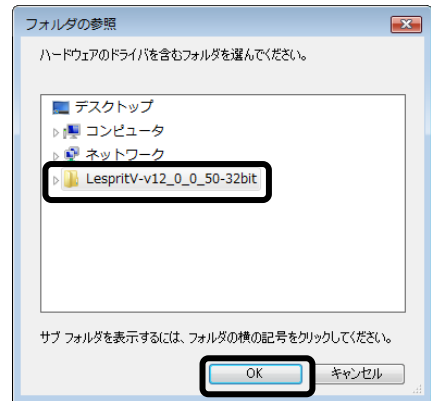
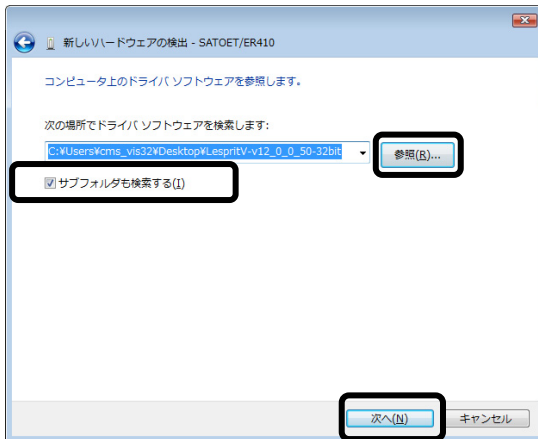
- ⑦ 「コンピュータを参照してドライバソフトウェアを検索します(上級) (R)」をクリックします。



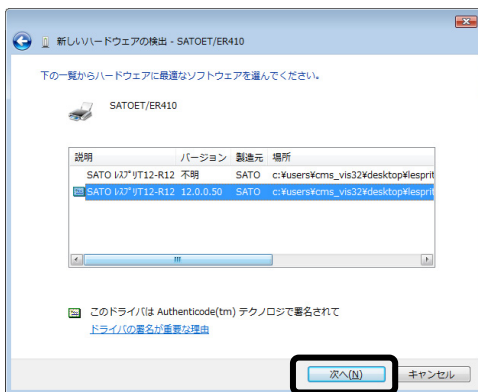
⑧ 「参照 (R)」 ボタンをクリックします。

「フォルダの参照」画面が表示されます。④でインストーラーを解凍したときに作成されたフォルダを選び、「OK」ボタンをクリックします。

「サブフォルダも検索する (I)」にチェックをして、「次へ (N)」 ボタンをクリックします。



⑨ インストールするプリンタの情報ファイルを選び、「次へ (N)」 ボタンをクリックします。

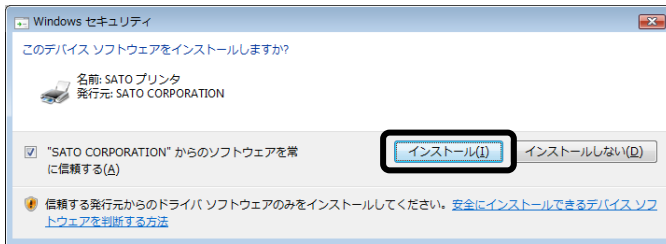


ヒント

プリンタ情報ファイルを選ぶ場合、「¥driver¥32bit¥windows ¥lesprity¥lesprity¥driver ¥les400v.inf」を選んでください。

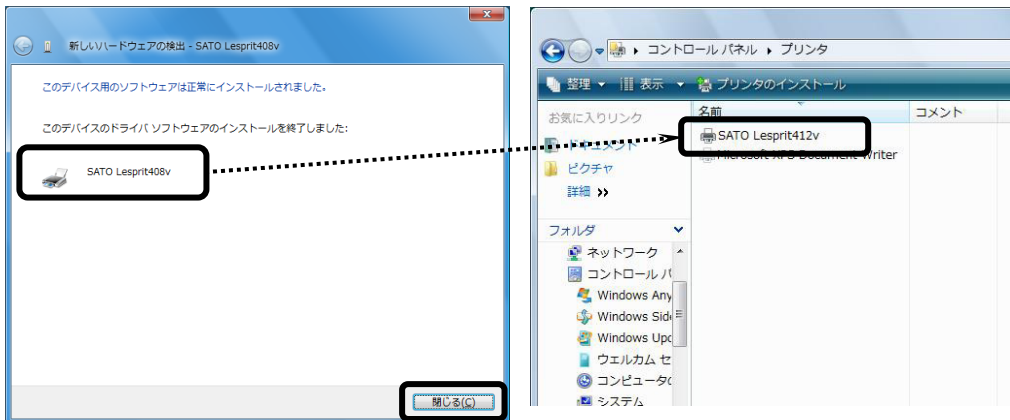
⑩ Windows セキュリティメッセージを表示します。

「インストール (I)」をクリックして、プリンタドライバをインストールしてください。



⑪ インストール終了後、「閉じる (C)」ボタンをクリックします。

「プリンタ」フォルダを開き、プリンタがインストールされていることを確認します。



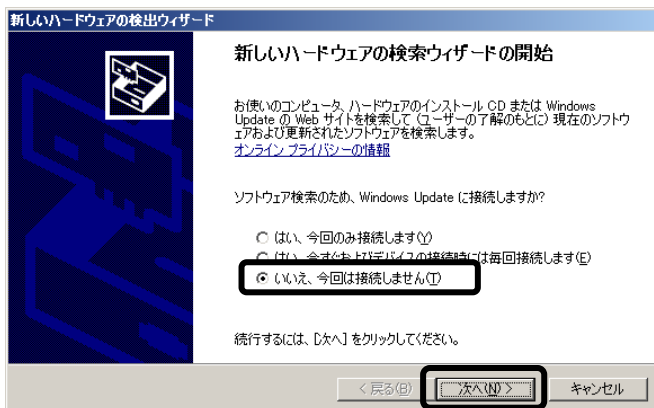
Windows Server 2003 の場合

注意 ターミナルサービスが起動している場合は、ターミナルサービスをインストールモードにしてください。
ただし、ターミナルサービス環境下でのプリンタドライバの使用は保証しておりませんので、ご注意ください。

- ① プリンタの電源を切ります。
- ② プリンタとコンピュータを USB ケーブルで接続します。
- ③ SATO ダウンロードサイト <http://www.sato.co.jp/download/manual/> から本プリンタを選択し、コンピュータの OS に合わせて「プリンタドライバ」をダウンロードします。
- ④ ダウンロードした EXE ファイルを実行して、インストーラーを解凍します。
- ⑤ プリンタの電源を入れます。

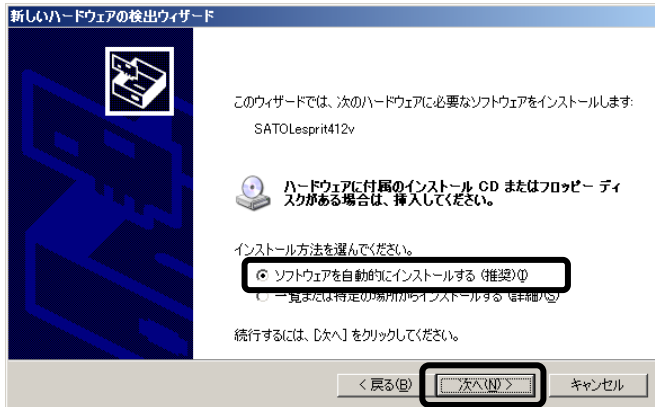
「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されます。

「いいえ、今回は接続しません (T)」を選び、「次へ (N)」ボタンをクリックします。



⑥ インストールする方法を選びます。

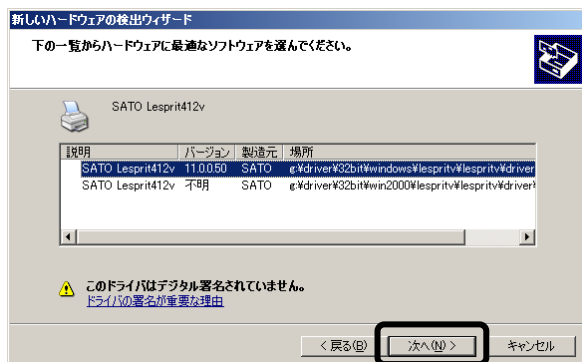
「ソフトウェアを自動的にインストールする（推奨）（I）」を選び、「次へ（N）」ボタンをクリックします。



⑦ インストールするプリンタの情報ファイルを検索します。



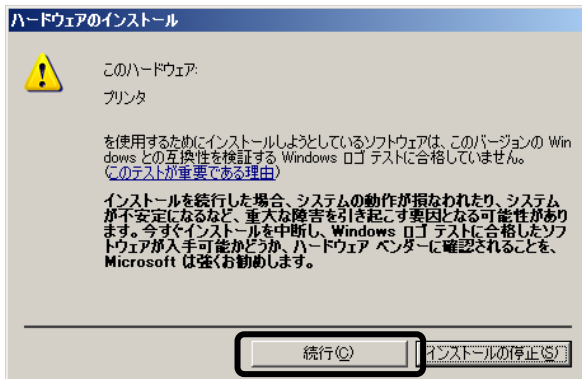
⑧ インストールするプリンタの情報ファイルを選び、「次へ（N）」ボタンをクリックします。



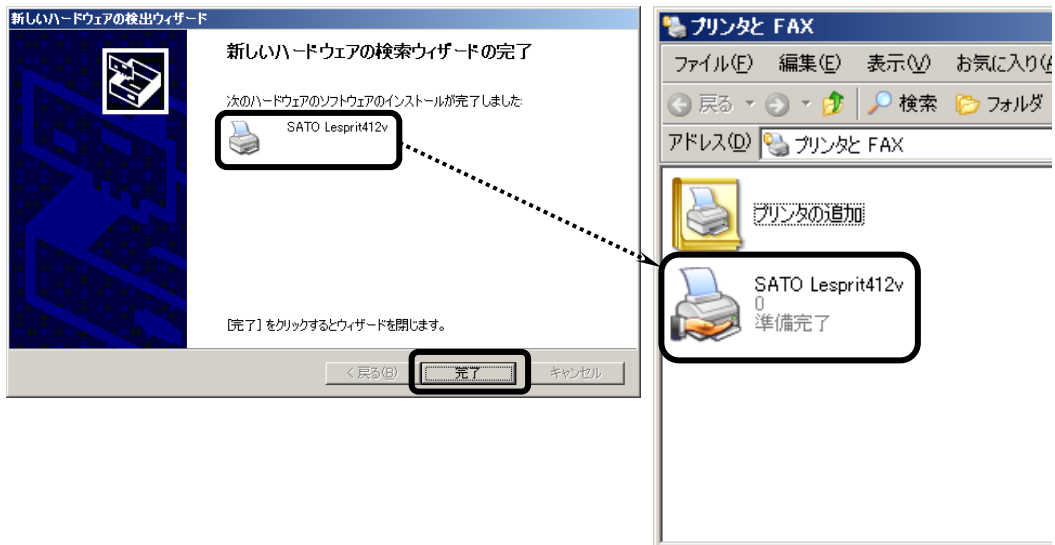
ヒント

Windows Server 2003 のプリンタ情報ファイルを選ぶ場合、「¥driver¥32bit¥windows¥lespritv¥lespritv¥driver¥les400v.inf」を選んでください。

- ⑨ 「ハードウェアのインストール」が表示されます。
「続行 (C) 」ボタンをクリックします。



- ⑩ インストール完了後、「完了」ボタンをクリックします。
「プリンタと FAX」フォルダを開き、プリンタがインストールされていることを確認します。



6. プリンタドライバのインストール方法（USB 以外）

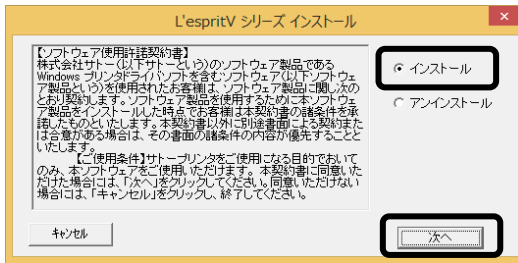
※ 本書のプリンタドライバのプロパティ画面は、Windows 8.1 を使用しています。
Windows Vista/7/8/10/Server 2003/Server 2008/Server 2008 R2/Server 2012/Server 2012 R2 では画面構成が異なる場合がありますが、機能は共通となります。

注意 インストール作業を始める前に使用中のアプリケーションはすべて終了してください。
プリンタの電源を切り、インタフェースケーブルをコンピュータと接続します。
プリンタドライバのセットアップ、プロパティ設定、印刷設定をおこなう場合は、Administrator 権限ユーザーでログインしてください。
プリンタドライバを使用する場合は、双方向通信を有効にしてご利用ください。
Windows Server 2003/Windows Server 2008 でターミナルサービスが起動している場合は、ターミナルサービスをインストールモードにしてください。
ただし、ターミナルサービス環境下でのプリンタドライバの使用は保証しておりませんので、ご注意ください。

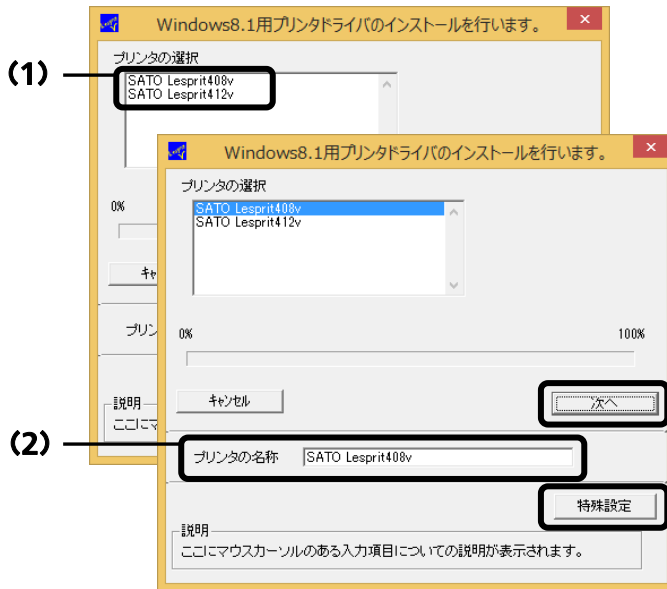
- ① プリンタの電源が切れていることを確認して、Windows を起動します。
- ② SATO ダウンロードサイト <http://www.sato.co.jp/download/manual/> から本プリンタを選択し、コンピュータの OS に合わせて「プリンタドライバ」をダウンロードします。
- ③ ダウンロードした EXE ファイルを実行して、インストーラーを解凍します。
- ④ PrnInst.exe を実行して、インストーラーを起動します。
- ⑤ ユーザーアカウント制御メッセージが表示されますので、「はい (Y)」をクリックします。



- ⑥ 「ソフトウェア使用許諾契約書」を読んで同意していただけたら、「インストール」を選び、「次へ」ボタンをクリックします。



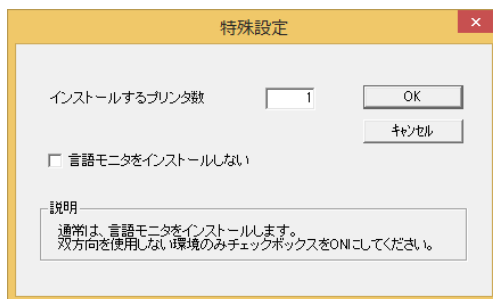
- ⑦ 使用するプリンタを選び、「次へ」ボタンをクリックします。



- (1) 【プリンタの選択】
インストールするプリンタを選びます。
- (2) 【プリンタの名称】
プリンタドライバの名称を入力できます。

※複数のプリンタドライバをインストールする場合は、「特殊設定」ボタンをクリックします。

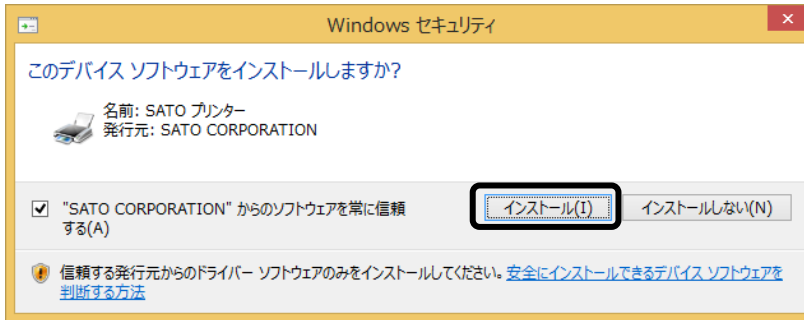
特殊設定画面



【特殊設定】

- インストールするプリンタ数
プリンタドライバを複数インストールする場合、インストールするプリンタ数を入力します。
- 言語モニタをインストールしない
双方向サポートを使用しない場合、チェックボックスをチェックします。

- ※ Windows Vista 以降の環境でインストールする場合、下記の Windows セキュリティメッセージが表示されます。
「インストール (I)」をクリックして、プリンタドライバをインストールしてください。
(Windows Vista/7/8/10/Server 2003/Server 2008/Server 2008 R2/Server 2012/Server 2012 R2 ではメッセージ内容が異なる場合があります。)

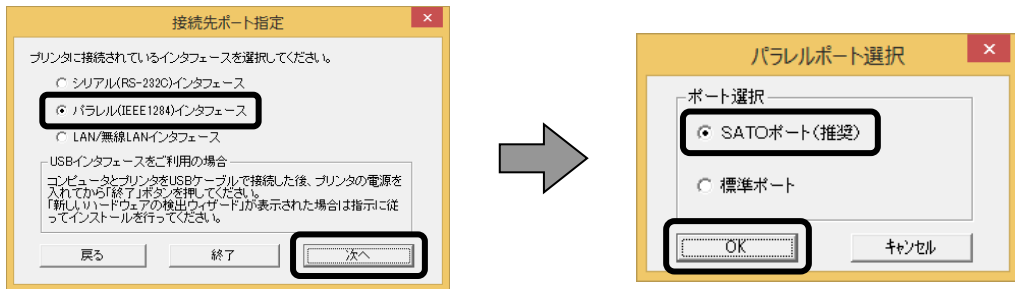


- ⑧ ご使用のインタフェースに合わせて以下のページをご覧ください。
- ・ 平行インタフェース (☞ 42 ページ)
 - ・ RS-232C インタフェース (☞ 43 ページ)
 - ・ LAN/無線 LAN インタフェース (☞ 44 ページ)

- ※ LPT ポート、USB ポートの接続の場合、「新しいハードウェアが見つかりました」の画面が表示されることがあります。そのときは、画面の右上の「×」、または「キャンセル」ボタンをクリックして画面を閉じてください。

パラレルインタフェースのインストール

- ⑨ 「パラレル(IEEE1284)インタフェース」を選び、「次へ」ボタンをクリックします。「SATO ポート (推奨)」を選び、「OK」ボタンをクリックします。

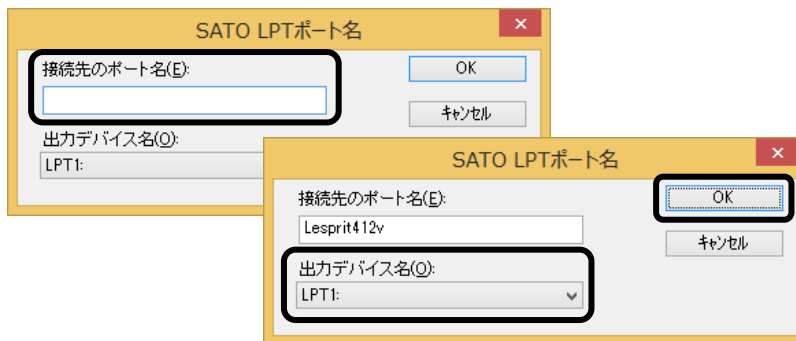


※ 「SATO ポート (推奨)」を選び、「OK」ボタンをクリックすると、⑩に進みます。

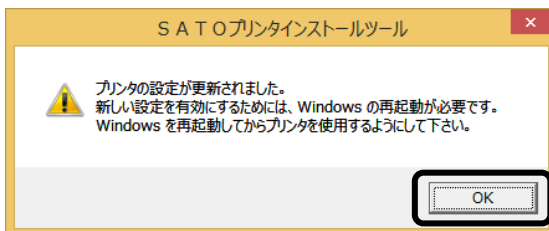
※ 「標準ポート」を選び、「OK」をクリックすると⑪に進みます。

※ 標準ポートは「LPT1」でインストールします。
標準ポートは、双方向通信をおこなわない場合に指定します。
標準ポートの「LPT1」以外で接続するときは、ドライバのセットアップ完了後に、プリンタドライバのプロパティ画面で出力ポートを変更してください。

- ⑩ 「接続先のポート名 (E)」に任意のポート名を入力します。「出力デバイス名 (O)」を選び、「OK」ボタンをクリックします。



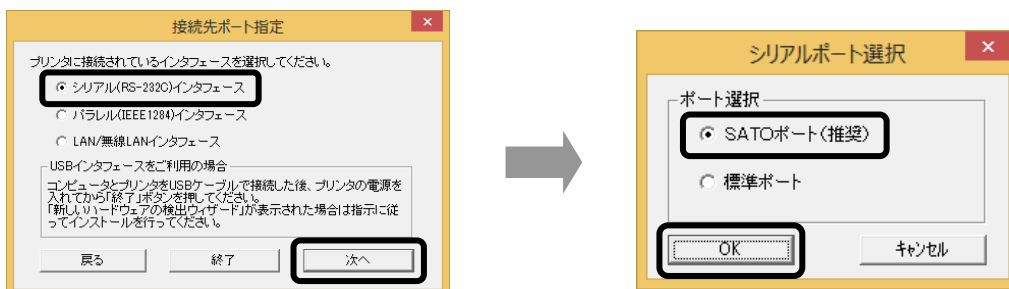
- ⑪ 「OK」ボタンをクリックします。以上でプリンタドライバのインストールは完了です。



- ⑫ プリンタをパラレルインタフェースに接続し、プリンタの電源を入れます。

RS-232C インタフェースのインストール

- ⑨ 「シリアル (RS-232C) インタフェース」を選び、「次へ」ボタンをクリックします。
「SATO ポート (推奨)」を選び、「OK」ボタンをクリックします。



※ 「SATO ポート (推奨)」を選び「OK」ボタンをクリックすると、⑩に進みます。

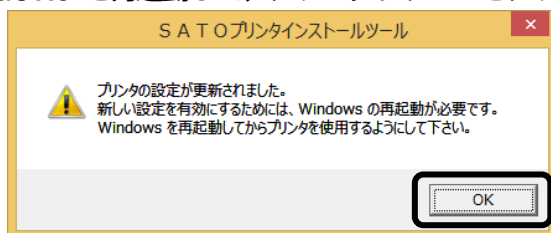
※ 「標準ポート」を選び「OK」ボタンをクリックすると、⑪に進み、インストールが完了します。

※ 標準ポートは「COM1」でインストールします。
標準ポートは、双方向通信をおこなわない場合に指定します。
標準ポートの「COM1」以外で接続するときは、ドライバのセットアップ完了後、プリンタドライバのプロパティ画面で出力ポートを変更してください。

- ⑩ 「接続先のポート名 (E)」に任意のポート名を入力します。「出力デバイス名 (O)」を選び、「OK」ボタンをクリックします。



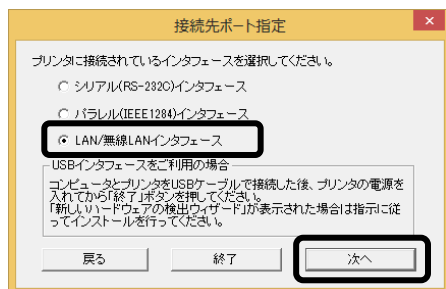
- ⑪ 「OK」ボタンをクリックします。以上でプリンタドライバのインストールは完了です。
Windows を再起動して、プリンタドライバとプリンタが接続されているかを確認します。



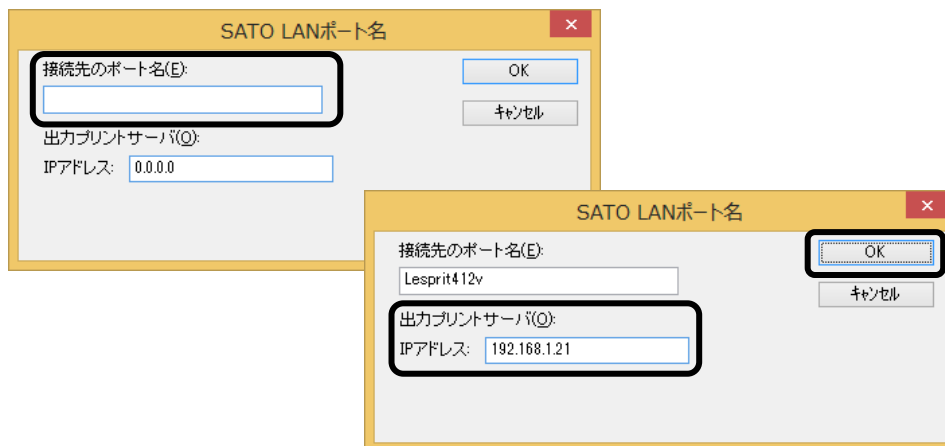
- ⑫ プリンタをシリアルインタフェースに接続し、プリンタの電源を入れます。

LAN/無線 LAN インタフェースのインストール

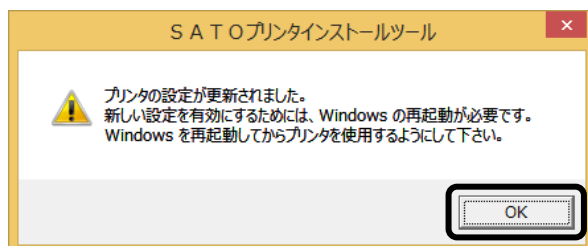
- ⑨ 「LAN/無線 LAN インタフェース」を選び、「次へ」ボタンをクリックします。
「SATO ポート (推奨)」を選び、「OK」ボタンをクリックします。



- ⑩ 「接続先のポート名 (E)」を入力します。
「出力プリントサーバ (O) IP アドレス」を入力し、「OK」ボタンをクリックします。



- ⑪ 「OK」ボタンをクリックします。以上でプリンタドライバのインストールは完了です。
Windows を再起動して、プリンタドライバとプリンタが接続されているかを確認します。



7. ラベル発行までの流れ

アプリケーションソフトから作成したレイアウトを印字するときは、最初にプリンタドライバの設定を確認してからおこないます。

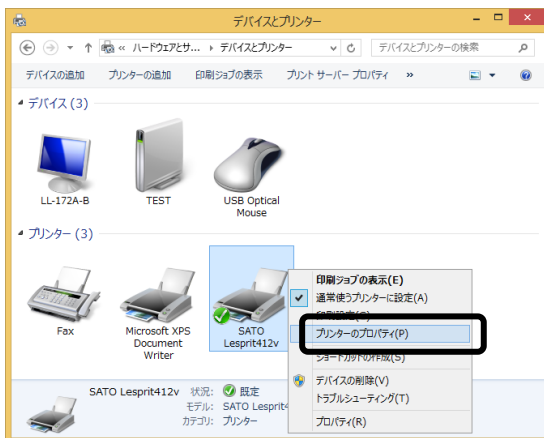
※ 本書のプリンタドライバのプロパティ画面は、Windows 8.1 を使用しています。

Windows Vista/7/8/10/Server 2003/Server 2008/Server 2008 R2/Server 2012/Server 2012 R2 では画面構成が異なる場合がありますが、機能は共通です。

① プリンタドライバの設定シートを開きます。

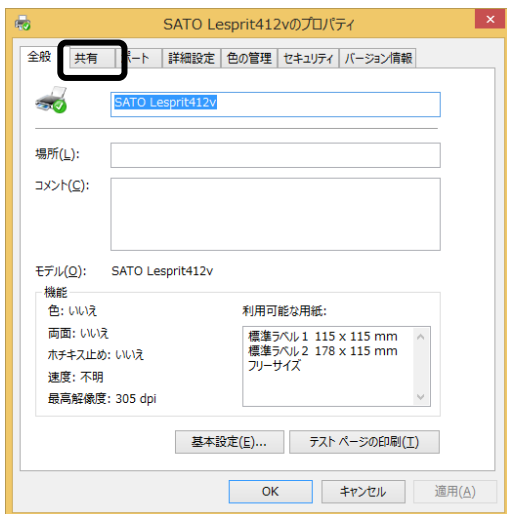
※ Windows Vista の場合、プリンタドライバのプロパティ画面を開くときは、「管理者として実行 (A) 」を選んでください。「管理者として実行 (A) 」を選ばずに設定すると、設定した値が有効になりません。ご注意ください。

1. 「デバイスとプリンター」フォルダを開き、使用しているプリンタのアイコンを右クリックしてください。「プリンターのプロパティ(P)」を選んでください。プリンタドライバのプロパティが開きます。



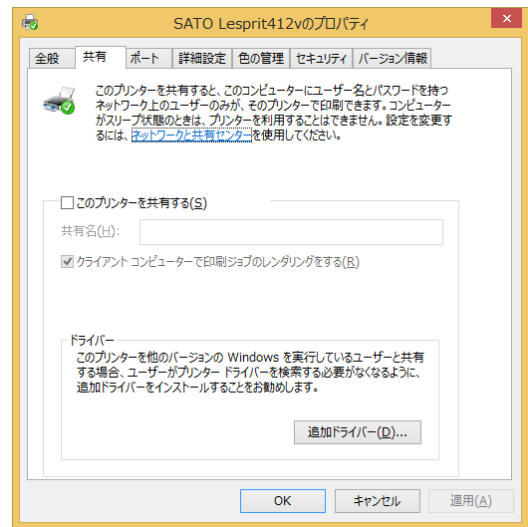
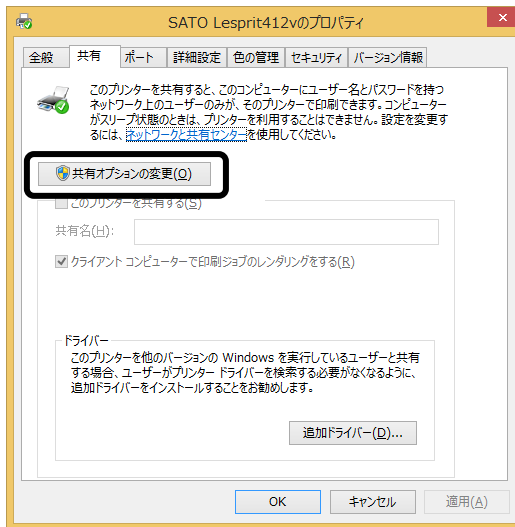
※ ここでは例として「Lesprit412v」で説明します。

2. 「共有」タブを選びます。



② 「共有オプションの変更 (O)」 ボタンをクリックします。

※ Windows Vista/7/8/10/Server 2003/Server 2008/Server 2008 R2/Server 2012 の場合に必要です。



「共有オプションの変更 (O)」が表示されない場合は、以下の操作をしてください。

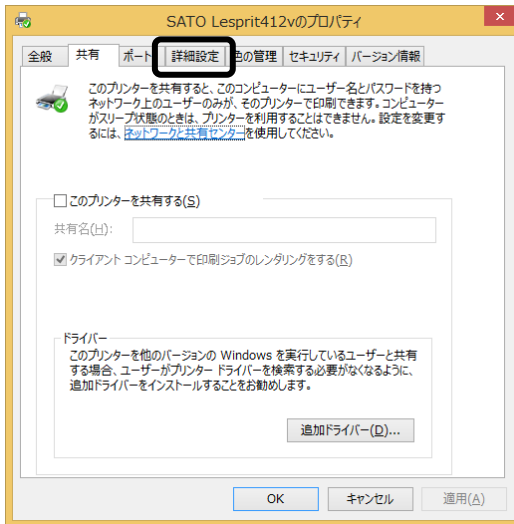
- (1) 「コントロールパネル」を開き、「ネットワークと共有センター」を選びます。
- (2) 「共有の詳細設定の変更...」を選びます。
- (3) 「ファイルとプリンターの共有」の「ファイルとプリンターの共有を無効にする」にチェックをして、「変更の保存」ボタンをクリックしてください。

全ユーザーのプリンタドライバの設定をするときは 47 ページをご覧ください。

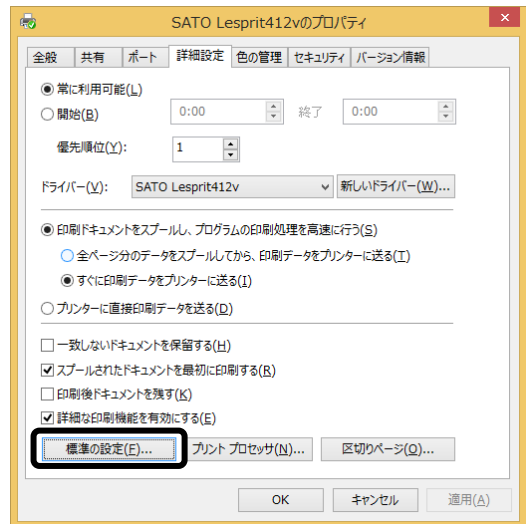
個別ユーザーのみのプリンタドライバの設定をするときは 48 ページをご覧ください。

- ▲全ユーザーのプリンタドライバを設定するときは、「標準の設定」を使用します。
新規に追加したユーザーのドライバの設定は、「標準の設定」の値が初期値になります。

③ 「詳細設定」タブを選びます。



④ 「標準の設定(F)...」 ボタンをクリックします。

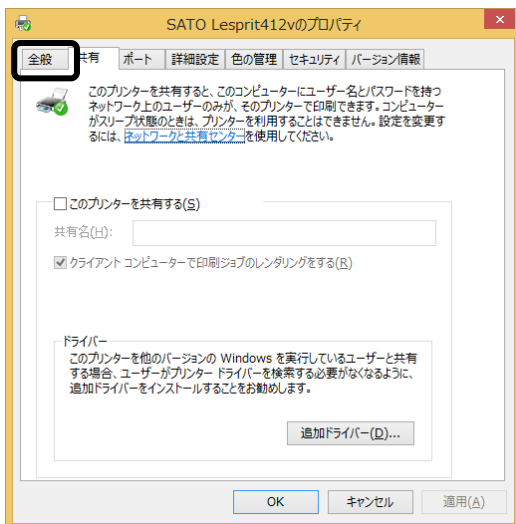


⑤ プリンタドライバの設定シートが開きます。

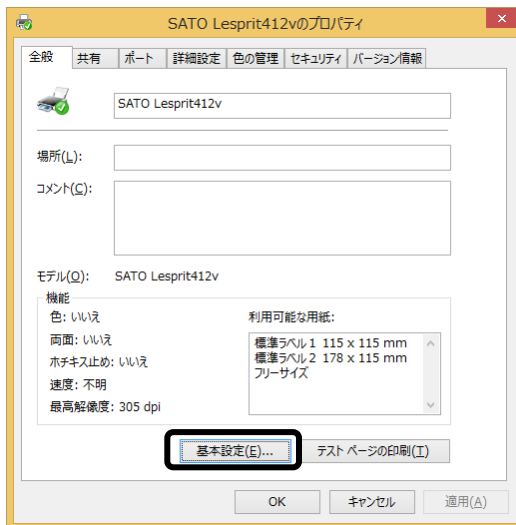


▲個別ユーザーのみのプリンタドライバを設定するときは、「基本設定 (E) ...」ボタンを使用します。

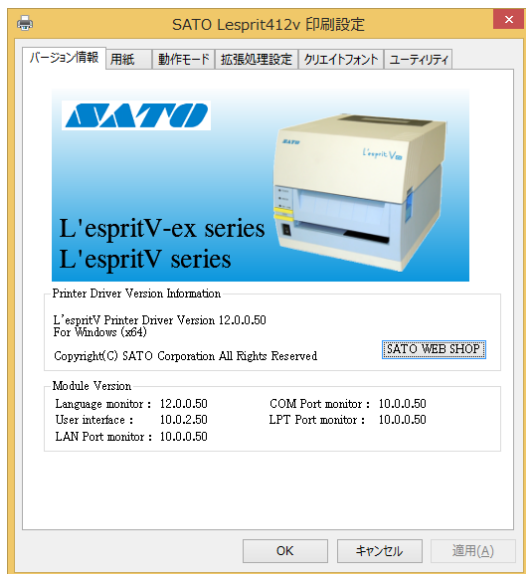
③ 「全般」タブを選びます。



④ 「基本設定(E)...」ボタンをクリックします。

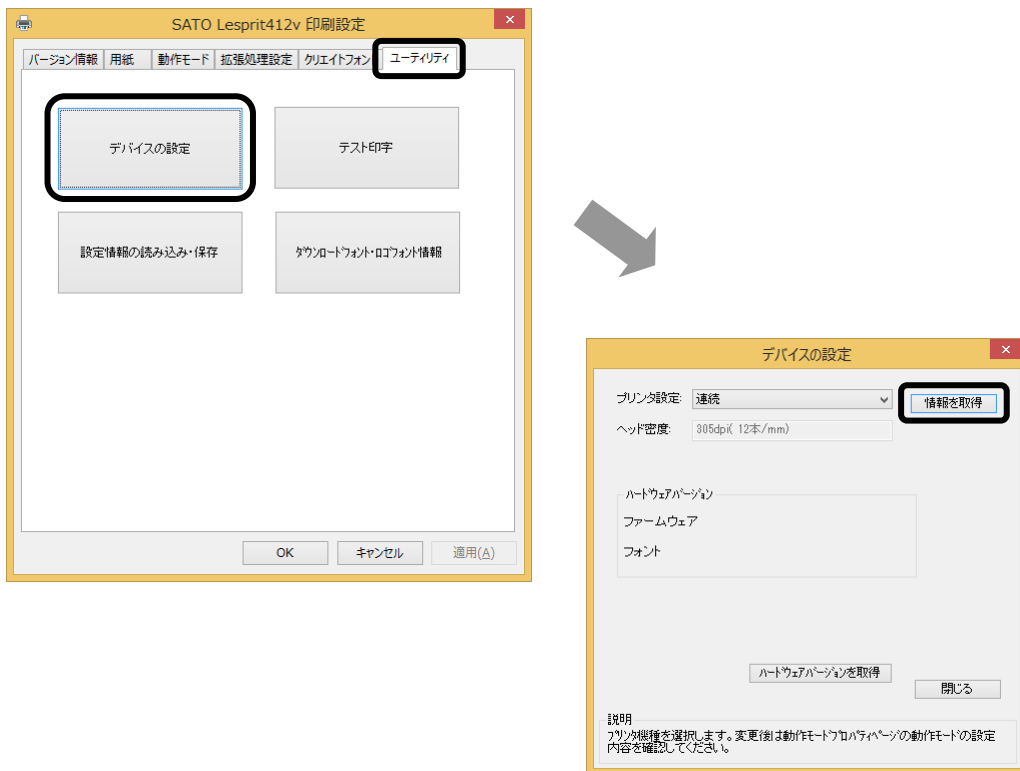


⑤ プリンタドライバの設定シートが開きます。



⑥ プリンタドライバの状態を取得します。

1. 「ユーティリティ」タブを選び、「デバイスの設定」ボタンをクリックします。



2. プリンタの電源を入れてください。

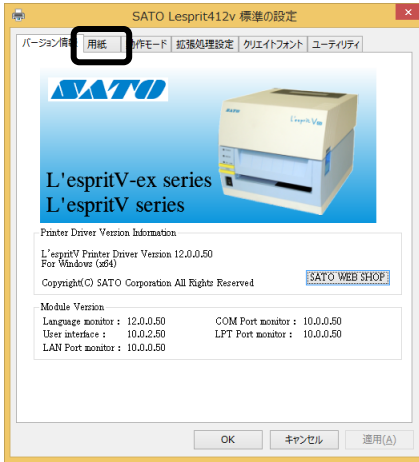
3. 「情報を取得」ボタンをクリックしてください。

本プリンタで指定しているプリンタ情報を取得し、「プリンタ設定」、「ヘッド密度」の欄に表示します。

プリンタ設定のリストボックスにて、プリンタの動作を選び設定できます。

⑦用紙を選びます。

1. 「用紙」タブを選びます。



2. 「用紙名」の ▾ をクリックして、表示されるリストから目的の用紙を選んでください。



「用紙名」には 2 種類の標準ラベルがあらかじめ登録されています。

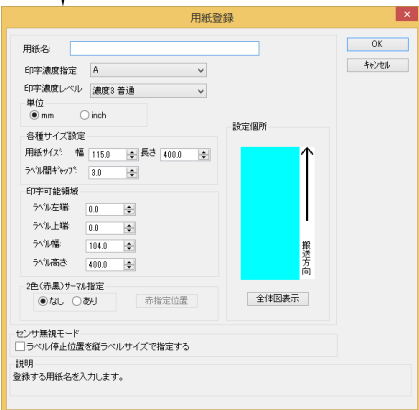
標準ラベル 1 115×115(mm)

標準ラベル 2 178×115(mm)

※ 標準ラベル以外の用紙を使用するときは

用紙登録 をクリックして新たに用紙を登録します。

「用紙登録」に関する詳細は、SATO ダウンロードサイト <http://www.sato.co.jp/download/manual/> から本プリンタを選択し、「プリンタドライバ説明書」をダウンロードして、「1.3 用紙」をご確認ください。



ヒント

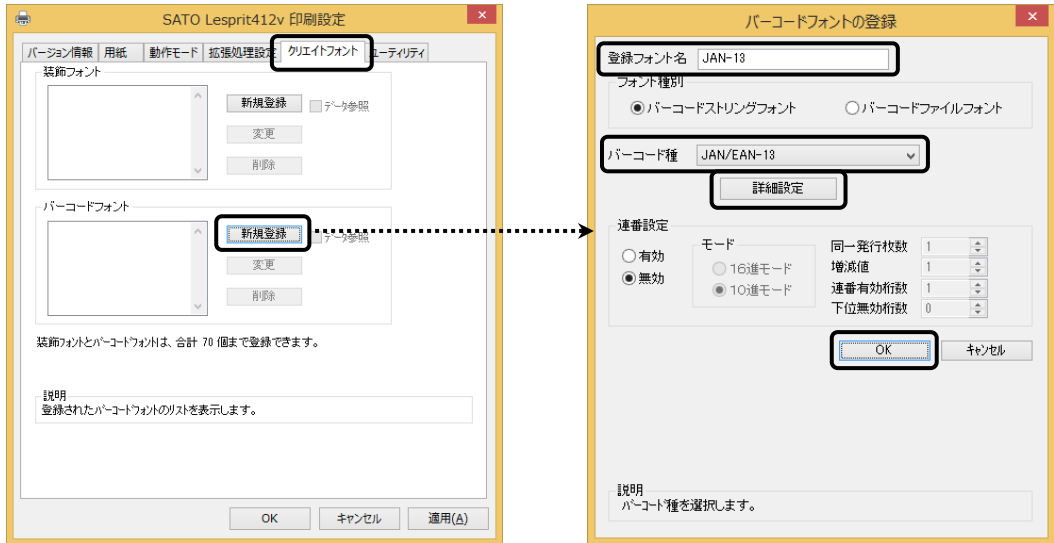
ここで選んだ用紙がアプリケーションソフトで通常使用する用紙に設定されます。アプリケーションソフトによっては、あらためて用紙を選ぶ必要があるものもあります。詳しくはアプリケーションソフトのマニュアルをご覧ください。

注意 プリンタドライバ経由で発行する場合は、濃度指定と印字濃度レベルが有効となりますので、本設定で印字が適性になるように設定をお願いします。

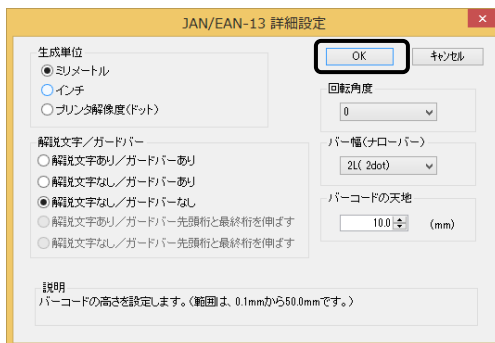
⑧ バーコードを印字するには

バーコードを印字するには、まず印字するバーコードの設定を「バーコードフォント」として登録する必要があります。その結果アプリケーションソフトからは、登録したバーコードフォントをフォント種として呼び出すことができます。以下に「バーコードフォント」の登録手順を示します。

1. 「クリエイトフォント」タブを選び、「バーコードフォント」グループの「新規登録」ボタンをクリックしてください。



2. 「登録フォント名」に、登録するバーコードフォントの名称を入力してください。
3. 「バーコード種」の ▾ をクリックして、表示されるリストから、登録するバーコード種を選び、「詳細設定」ボタンをクリックしてください。
4. 選んだバーコード種に対応する設定ダイアログを表示します。



※ ここでは例として「JAN/EAN-13」の設定をしています。

5. 設定が終了したら「OK」ボタンをクリックしてください。ひとつ前のダイアログに戻りますので、もう一度「OK」ボタンをクリックしてください。

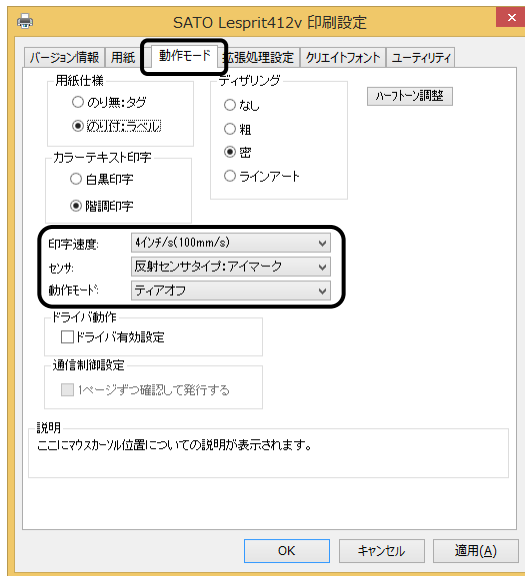
以上の手順でバーコードフォントを登録することにより、アプリケーションソフトからバーコードを印字することが可能となります。

注意 使用するアプリケーションによっては、プリンタドライバで設定した装飾フォント・バーコードフォントが印字できない場合があります。

※ 「クリエイトフォント」シートに関する詳細は、SATO ダウンロードサイト <http://www.sato.co.jp/download/manual/> から本プリンタを選択し、「プリンタドライバ説明書」をダウンロードして、「1.6 クリエイトフォント」をご確認ください。

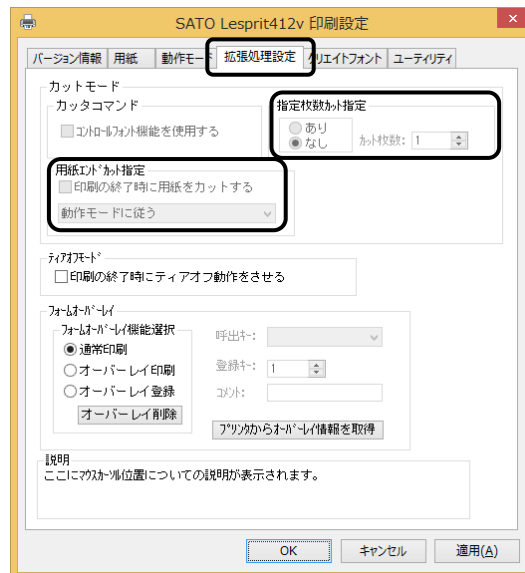
⑨ プリンタ動作を設定します。

1. 「動作モード」タブを選びます。
2. 「印字速度」の▼をクリックして、表示されるリストから印字速度を選びます。
3. 「センサ」の▼をクリックして、表示されるリストから使用するセンサを選びます。
4. 「動作モード」の▼をクリックして、表示されるリストから動作モードを選びます。



⑩ カッタ付プリンタをご使用の場合

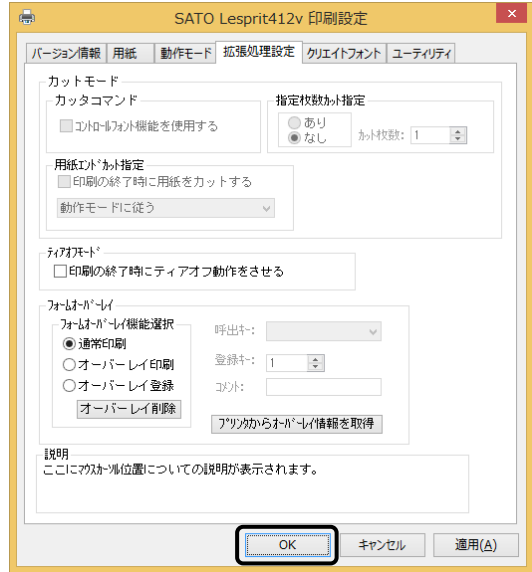
1. 「拡張処理設定」タブを選びます。
2. 一定枚数ごとにラベルをカットする場合は「指定枚数カット指定」を「あり」にして、「カット枚数」を設定してください。
3. 印刷終了ごとにラベルをカットする場合は「印刷終了時に用紙をカットする」チェックボックスにチェックし、カット動作を設定してください。



※ 「拡張処理設定」シートに関する詳細は、SATO ダウンロードサイト <http://www.sato.co.jp/download/manual/> から本プリンタを選択し、「プリンタドライバ説明書」をダウンロードして、「1.5 拡張処理設定」をご確認ください。

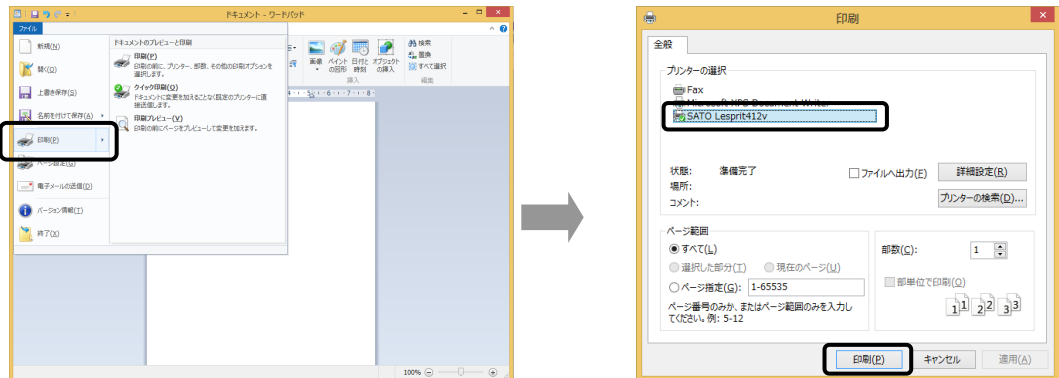
⑪ 設定が終わったら、プリンタドライバの設定シートを閉じます。

設定シートの「OK」ボタンをクリックしてください。



⑫ ラベル発行を開始します。

印刷の開始方法はアプリケーションソフトによって多少異なりますが、一般的には「ファイル(F)」メニューから「印刷(P)」を選んだときに表示されるダイアログの「OK」ボタンをクリックすることで実行されます。ご使用のアプリケーションソフトの取扱説明書も併せてご覧ください。



ヒント

印刷を実行する前に、アプリケーションソフトが使用するプリンタドライバが、お使いのプリンタにあったドライバに設定されているか確認してください。

ドライバの設定方法はアプリケーションソフトによって多少異なりますが、一般的には、「ファイル(F)」メニューから「印刷(P)」を選んだときに表示されるリストから、またはダイアログ中にある「プリンタ名(N)」の ▾ をクリックし、表示されるリストから目的のものを選ぶことで設定できます。

また、アプリケーションソフトによっては「⑦用紙を選びます」で選んだ用紙を使用するために、アプリケーションソフトの用紙選択機能において、あらためて用紙を選ぶ必要があるものもあります。

注意 弊社ソフトウェア (Multi LABELIST) を使用した場合、プリンタドライバの設定ではなく、弊社ソフトウェアの設定が有効になります。

8. プリンタドライバのアンインストール方法

プリンタドライバをアンインストールする手順を説明します。

お願い

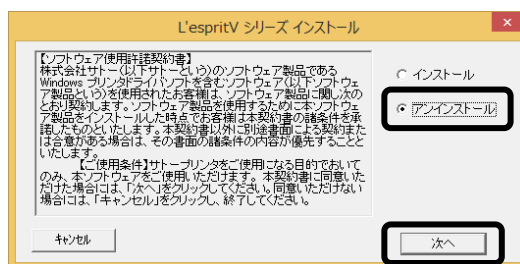
アンインストール作業を始める前に、使用中のアプリケーションはすべて終了してください。

※ 本書のプリンタドライバのプロパティ画面は、Windows 8.1 を使用しています。
Windows Vista/7/8/10/Server 2003/Server 2008/Server 2008 R2/Server 2012/Server 2012 R2 では画面構成が異なる場合がありますが、機能は共通となります。

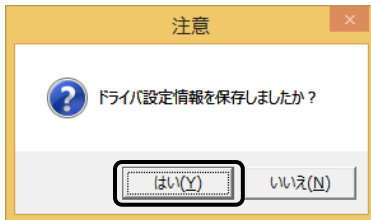
- ① プリンタの電源がオフになっていることを確認してください。
- ② SATO ダウンロードサイト <http://www.sato.co.jp/download/manual/> から本プリンタを選択し、コンピュータの OS に合わせて「プリンタドライバ」をダウンロードします。
- ③ ダウンロードした EXE ファイルを実行して、インストーラーを解凍します。
- ④ PrnInst.exe を実行して、インストーラーを起動します。
- ⑤ ユーザーアカウント制御メッセージが表示されますので、「はい (Y)」をクリックします。



- ⑥ 「アンインストール」を選び、「次へ」ボタンをクリックします。



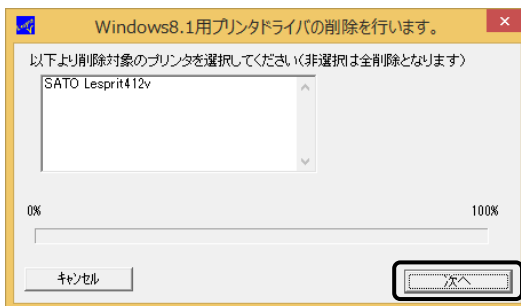
- ⑦ ユーティリティでドライバプロパティを保存している場合は、「はい(Y)」ボタンをクリックします。



ヒント

アンインストールを実施すると「用紙」「クリエイトフォント」などの指定した項目が削除されますので、ドライバの「ユーティリティ」の「設定情報の読みだし・保存」にてファイル保存をおこなってください。保存方法は、56 ページをご覧ください。

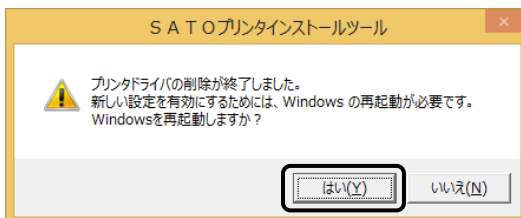
- ⑧ プリントドライバをアンインストール（削除）します。
プリンタを選ばずにアンインストールすると、表示しているすべてのプリントドライバを削除します。プリンタを選んでアンインストールすると、選んだプリントドライバのみ削除します。
「次へ」ボタンをクリックすると、アンインストールを開始します。



ヒント

アンインストールを実施すると、プリントドライバをインストールしたときにインストールした、「SATO ポート」、「プリンタ設定ツール」も削除します。

- ⑨ 「はい (Y)」ボタンをクリックします。
必ず Windows を再起動してください。
以上でプリントドライバのアンインストールは完了です。



9. ドライバ設定情報の保存方法

ドライバ設定情報の保存方法について説明します。

※ プリンタドライバのプロパティ画面は、Windows 8.1 を使用しています。

Windows Vista/7/8/10/Server 2003/Server 2008/Server 2008 R2/Server 2012/Server 2012 R2 では画面構成が異なる場合がありますが、機能は共通です。

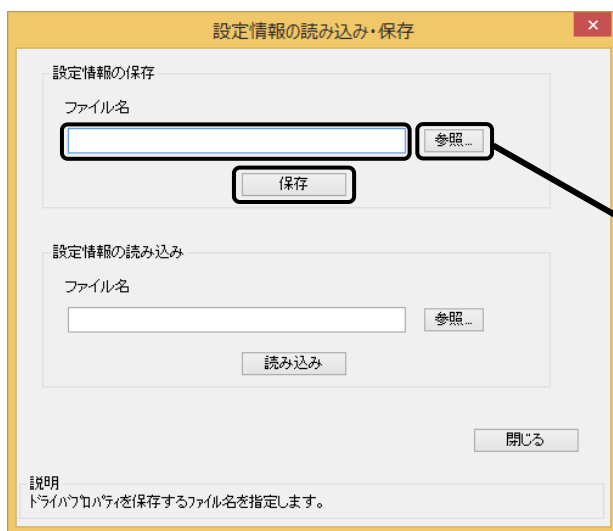
- ① プリンタドライバの「基本設定」または「標準の設定」を開き、「ユーティリティ」タブを選び、「設定情報の読み込み・保存」ボタンをクリックします。



ヒント

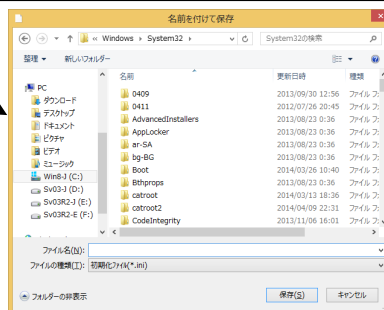
標準の設定を開く方法は、47 ページをご覧ください。

- ② 「参照...」ボタンをクリックします。「名前を付けて保存」画面を表示します。ファイルの保存先を指定し、ファイル名を入力します。「保存(S)」ボタンをクリックします。「設定情報の読み込み・保存」画面の「保存」ボタンをクリックします。



ヒント

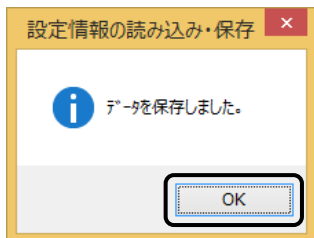
「参照」をクリックすると、任意の場所にファイル保存することができます。



ヒント

保存するファイルは、必ず拡張子「.ini」を付加してください。

③ 「データを保存しました。」の表示後、「OK」ボタンをクリックします。



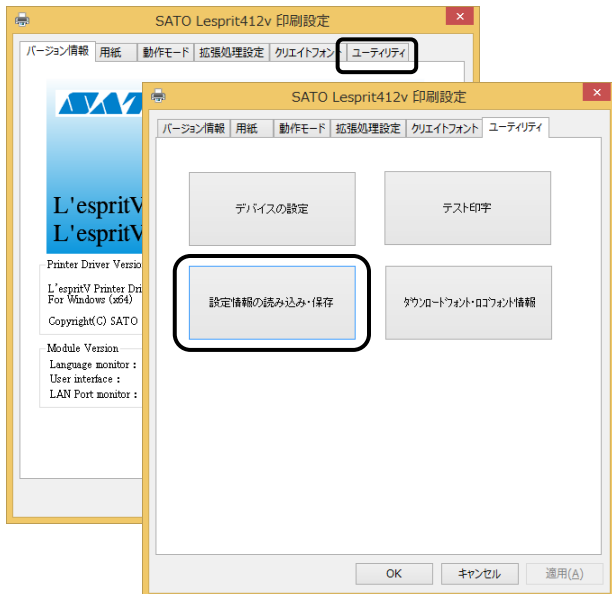
10. ドライバ設定情報の読み込み方法

ドライバ設定情報の読み込み方法について説明します。

※ プリンタドライバのプロパティ画面は、Windows 8.1 を使用しています。

Windows Vista/7/8/10/Server 2003/Server 2008/Server 2008 R2/Server 2012/Server 2012 R2 では画面構成が異なる場合がありますが、機能は共通です。

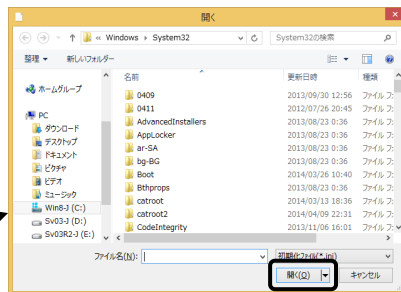
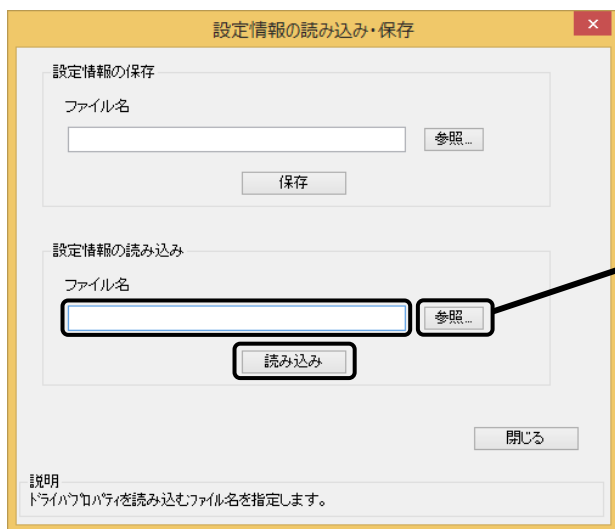
- ① プリンタドライバの「印刷設定」または「標準の設定」を開き、「ユーティリティ」タブを選び、「設定情報の読み込み・保存」ボタンをクリックします。



ヒント

標準の設定を開く方法は、47 ページをご覧ください。

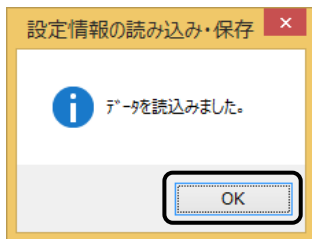
- ② 「参照…」ボタンをクリックして、「開く」画面でファイルを読み込みます。「開く(O)」ボタンをクリックします。「設定情報の読み込み・保存」画面の「読み込み」ボタンをクリックします。



ヒント

ファイルを読み込む場合は、必ず拡張子「.ini」を付加してください。

③ 「データを読み込みました。」の表示後、「OK」ボタンをクリックします。

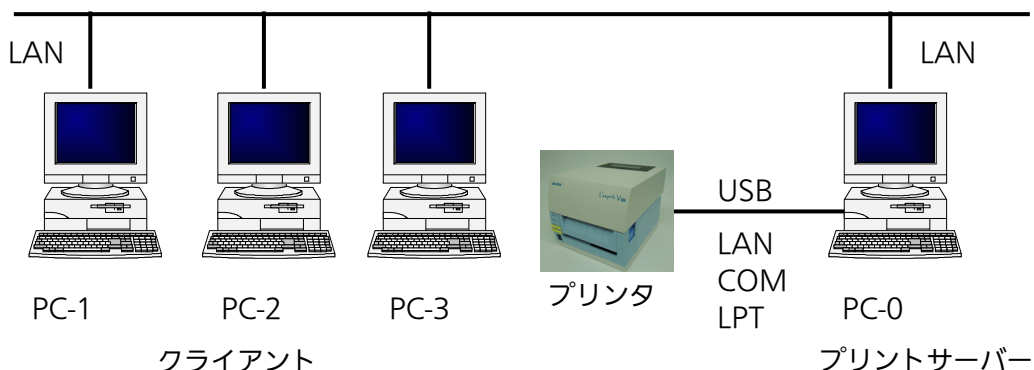


1 1. プリンタドライバ共有機能

プリンタドライバを共有設定で使用する場合のセットアップ手順について説明します。

1. 接続方法

接続は、下図に示しますように、1台のコンピュータ（PC-0）をプリントサーバーにし、他のコンピュータ（PC-1、PC-2、PC-3、・・・）はクライアントとします。また、すべてのコンピュータは LAN 接続されており、プリントサーバーとプリンタは LPT（もしくは COM、USB、LAN）で接続します。



2. プリンタドライバの設定方法

①プリントサーバー、クライアントともに、SATO ダウンロードサイト

<http://www.sato.co.jp/download/manual/> から本プリンタを選択し、コンピュータの OS に合わせて「プリンタドライバ」をダウンロードして、プリンタドライバをインストールします。

- 「プリンタ」フォルダの「プリンタ追加」アイコンにて追加した場合、必要なファイルがインストールされず正常動作しないおそれがあります（ネットワークコンピュータ上の共有プリンタアイコンのコピーも同じです）。
- クライアントにプリンタドライバをインストールする場合、SATO ポートではなく標準ポート（LPT、COM）を指定してください。
- プrintサーバーにプリンタドライバをインストールする場合は、SATO ポートを指定してください。

②プリントサーバーのプリンタドライバから正常にラベル発行ができることを確認後、プリンタドライバを「共有」に設定してください。

- ③クライアントのプリンタドライバの出力先ポートをサーバーで設定した共有プリンタに指定します。

環 境	設定方法
Windows Server 2003 Windows Vista Windows Server 2008	ドライバ→「プロパティ」→「ポート」→「ポートの追加」→「Local Port」でポートの追加をおこないます。 ポート名に「¥¥共有 PC 名¥¥共有プリンタ名」を指定します。
Windows 7 Windows 8 Windows Server 2012 Windows 8.1 Windows 10	ドライバ→「プリンターのプロパティ」→「ポート」→「ポートの追加」→「Local Port」でポートの追加をおこないます。 ポート名に「¥¥共有 PC 名¥¥共有プリンタ名」を指定します。

- ④クライアント側のプリンタドライバの双方向通信を OFF にします。

環 境	設定方法
Windows Server 2003 Windows Vista Windows Server 2008	ドライバ→「プロパティ」→「ポート」→「双方向サポートを有効にする」のチェックを外します。
Windows 7 Windows 8 Windows Server 2012 Windows 8.1 Windows 10	ドライバ→「プリンターのプロパティ」→「ポート」→「双方向サポートを有効にする」のチェックを外します。

【注意】 出力先が SATO ポート（SATO LPT、SATO COM、SATO LAN）を指定していた場合、本操作をおこなうとプロパティ情報（クリエイティブフォントや用紙情報など）が初期化されるおそれがあります。
出力先が SATO ポート以外であることを確認して本操作をおこなってください。
SATO ポートを選んでいた場合は、一度標準ポート（LPT、COM）を選び、「OK」ボタンでポートの変更後に、本操作をおこなってください。

3. 制限事項

クライアントでは、「双方向通信」を無効設定にしているため、下記の制限事項が生じます。

- ①プリンタで発生した「用紙切れ」、「リボン切れ」などの各種エラーを認識することができません。
- ②「拡張処理設定」タブの「プリンタからオーバーレイ情報を取得」は使用できません。それに伴い「フォームオーバーレイ印刷」も使用できません。
- ③「ユーティリティ」タブの「デバイスの設定」の「情報を取得」と「ハードウェアバージョンを取得」は使用できません。
- ④「動作モード」タブの「動作モード」指定、および「用紙」タブの「メカニズム補正—各種オフセット」指定が制限されます。

1 2. Web ブラウザによるネットワーク設定

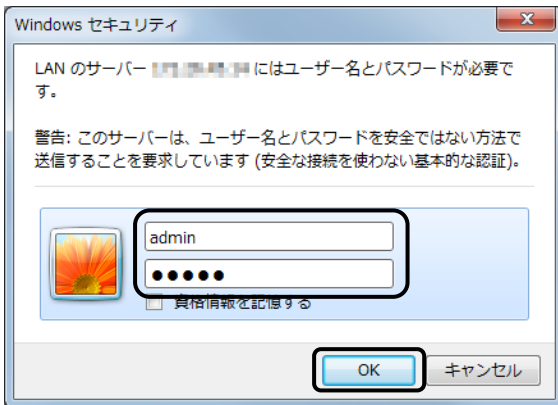
Web ブラウザを使ったネットワークの設定方法を説明します。

1. ログイン方法

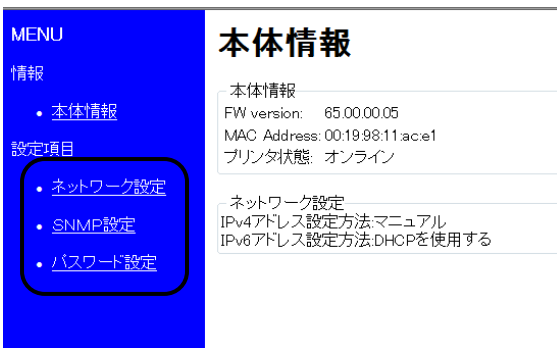
① Web ブラウザを起動します。

ここでは「Internet Explorer」を例に説明します。

② アドレスバーにプリンタの IP アドレスを入力し、Enter キーを押します。
パスワード入力画面が表示されます。



③ 「ユーザー名」および「パスワード」に「admin」と入力し、「OK」をクリックします。
本体情報が表示されます。



④ 設定項目から「ネットワーク設定」、「SNMP 設定」、「パスワード設定」を選択して設定します。

設定内容と設定項目は下記のとおりです。

ネットワーク設定

設定内容：LAN IPv4

設定項目：アドレス解決、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス

設定内容：LAN IPv6

設定項目：アドレス解決、IP アドレス、プレフィックス、デフォルトルータ

SNMP 設定

設定内容：SNMP

設定項目：有効無効設定、コミュニティ名、ユーザー、トラップ

パスワード設定

設定内容：パスワード ログイン名（初期値：admin）

設定項目：パスワード（初期値：admin）

- 設定項目の詳細は、プログラミングガイドの「LAN インタフェース」をご覧ください。
プログラミングガイドについては、弊社営業担当にお問い合わせください。
- 本ブラウザによる設定は、有線 LAN のみ対応しています。

1 3. レスプリ互換モード設定

本機能は、レスプリシリーズ（レスプリ V を除く）プリンタが導入されている環境にレスプリ V-ex シリーズプリンタを追加導入や置換え導入した際に設定します。
レスプリ V-ex シリーズプリンタをレスプリシリーズのプリンタドライバと接続する場合、レスプリ互換モードに設定してください。

レスプリ互換モードの各インタフェースの設定は下表のとおりです。

	標準モード	レスプリ互換モード
①USB インタフェース 接続	OS 標準 USB 印刷サポート 〔レスプリ V シリーズ プリンタドライバ専用〕	SATO USB ポート 〔レスプリシリーズ プリンタドライバ専用〕
②LAN インタフェース 通信プロトコル 初期値	ENQ 応答ステータス	周期応答ステータス

通信プロトコルの設定は、プリンタ設定ツール*を使用して切替えることができます。
レスプリ互換モードの設定は、プリンタ設定ツール*を使用して設定するか、または以下の操作をして設定してください。

- ① プリンタの電源を切ってください。
- ② トップカバーを開きます。
- ③ フロントカバー内側にあるディップスイッチの 1、2、3 番の設定をメモしておきます。
- ④ 用紙ホルダ横に添付しているボリューム調整用ドライバのマイナス側を使用して、ディップスイッチの 1 番、3 番を OFF、2 番を ON にします。
- ⑤ トップカバーを閉じます。
- ⑥ **ON LINE** キー、**FEED** キーを押しながら電源を入れます。エラー表示ランプに「c」が表示されるまで **ON LINE** キー、**FEED** キーを押します。
- ⑦ **ON LINE** キー、**FEED** キーを離して、エラー表示ランプに「0」が表示されたら、**ON LINE** キーを押します。
- ⑧ エラー表示ランプに「1」が表示されたら、**FEED** キーを押します。設定が終了するとブザーが 1 回なります。
- ⑨ 電源を切ってください。
- ⑩ ディップスイッチの設定を、③でメモした設定に戻します。

これでレスプリ互換モード設定は完了です。

* プリンタ設定ツールの使用方法は、SATO ダウンロードサイト

<http://www.sato.co.jp/download/manual/> から本プリンタを選択し、コンピュータの OS に合わせてダウンロードした「プリンタ設定ツール説明書」をご確認ください。

14. Q&A

Q1 「プリンタドライバがインストールできない、インストール時にエラーが発生する」

チェック インストールしようとしているユーザーは Administrator 権限ですか？

Administrator 権限ユーザーでインストールをおこなってください。

チェック Windows Server OS などでターミナルサービスが起動されていませんか？

ターミナルサービスを一時的に停止するか、モードをインストールモードに変更してインストールをおこなってください。

チェック リモートデスクトップなどを利用して遠隔コンピュータからインストールしようとしていませんか？

インストールするコンピュータ上でインストールをおこなってください。

チェック 古いバージョンのプリンタドライバがすでにインストールされていませんか？

アンインストーラを使って古いバージョンのプリンタドライバをアンインストールし、コンピュータを再起動して最新のプリンタドライバでインストールをおこなってください。

Q2 「印刷に失敗する」

チェック プリンタの電源は入っていますか？プリンタにケーブルは接続されていますか？

プリンタの電源を入れ、ケーブルが正しく接続されているか確認してください。

チェック プリンタの通信プロトコルは、ステータス 4 になっていますか？

プリンタドライバを使用する場合、通信プロトコルはステータス 4 に限定されます。

プリンタの通信プロトコルをステータス 4 に設定してください。

チェック プリンタドライバの COM ポートは正常に動作していますか？（RS-232C をご使用の場合）

プロパティのポートタブにて、印刷ポートを COM に指定し、ポートの構成のデバイスチェックで「本デバイスは他ドライバで使用しているため使用できません」と表示される場合、他のドライバがその COM を専有しています。印字対象以外のプリンタドライバのポート設定を確認し、COM の設定を外してください。

Q3 「プリンタで印字したバーコードが読めない」

チェック バーコードがイメージで作成されていませんか？

プリンタドライバを使用して、バーコードフォントやバーコードイメージ（BMP）などを印字する場合、印字されたバーコードがスキャナで読み取りできない場合があります。これは描画されたバーコードとプリンタの解像度が異なることでバーコードを正しく印字できないことが原因です。プリンタドライバのクリエイトバーコードをご利用ください。

Q4 「プリンタドライバで設定した印字速度や印字濃度、基点補正などが有効にならない」

チェック 使用しているアプリケーションソフトを確認してください。

弊社ソフトウェア（Multi LABELIST シリーズなど）を使用した場合、プリンタドライバの印字設定が有効になりません。弊社ソフトウェア側のプリンタ印字条件を確認してください。

Q5 「印字がずれる」

チェック プリンタドライバの用紙設定がされていますか？

プリンタドライバの用紙設定でご使用のラベルサイズで用紙登録をおこない、登録した用紙を選んで発行してください。

※ 現象が解消しない場合は、販売店、ディーラー、または、お客さまヘルプデスクにお問い合わせください。

お問い合わせ先：  0120-696310

9:00 ~ 17:00（土・日・祝日を除く）

15. ご注意

- **ご注意**
製品を安全にご使用いただくために、「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。
フォント、ロゴデータについては、お客様にてマスターデータの管理をお願いします。
いかなるときも本プリンタに登録されているデータは保証いたしません。
- 本セットアップガイドの内容は予告なく変更する場合があります。
- **使用許諾について**
各種ソフトウェアをご使用いただく上で、はじめに SATOダウンロードサイト
<http://www.sato.co.jp/download/agreement.html> にある「ソフトウェア使用許諾契約書」をご確認ください。
- **動作環境について**（お使いになるコンピュータは以下のスペックを推奨します。）
 - ◆米国マイクロソフト社の OS ごとの推奨スペック以上でご使用ください。
 - ◆画面の表示色 32,000 [High Color (16ビット)] 以上の表示
 - ◆画面サイズ 1024×768 ピクセル以上
 - ◆対応 OS
 - <x86 版 OS (32bit 版 OS) >
Windows Vista Home Basic、Windows Vista Home Premium、Windows Vista Business
Windows Vista Ultimate
Windows 7 Home Premium、Windows 7 Professional、Windows 7 Ultimate
Windows 8、Windows 8 Pro、Windows 8 Enterprise
Windows 8.1、Windows 8.1 Pro、Windows 8.1 Enterprise
Windows 10 Home、Windows 10 Pro、Windows 10 Enterprise、Windows 10 Education
Windows Server 2003 Standard、Windows Server 2003 Enterprise、Windows Server 2003 R2 Standard、Windows Server 2003 R2 Enterprise
Windows Server 2008 Standard、Windows Server 2008 Enterprise
 - <x64 版 OS (64bit 版 OS) >
Windows 7 Home Premium、Windows 7 Professional、Windows 7 Ultimate
Windows 8、Windows 8 Pro、Windows 8 Enterprise
Windows 8.1、Windows 8.1 Pro、Windows 8.1 Enterprise
Windows 10 Home、Windows 10 Pro、Windows 10 Enterprise、Windows 10 Education
Windows Server 2008 Standard、Windows Server 2008 Enterprise
Windows Server 2008 R2 Standard、Windows Server 2008 R2 Enterprise
Windows Server 2012 Foundation、Windows Server 2012 Essentials、
Windows Server 2012 Standard
- Windows は、米国マイクロソフト社の登録商標です。
- Bluetooth は、米国 Bluetooth SIG の商標です。
- Microsoft Internet Explorer は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

DATA